

第4次所沢市子どもの読書活動推進計画

～ すべての子どもに読書の楽しみを ～



令和6年3月

所沢市

はじめに



37年前、昭和62(1987)年3月に制定されました所沢市民憲章には、『こどもは市の宝である』と記されています。所沢市は、未来を担う子どもたちが健やかに成長し、お一人おひとりが輝けるまちを目指しています。

そのためにも、子どもたちが、これからの人生を歩んでいく中で、読書を通じて様々な知識を得ることは、生きる力を育むうえで、とても大切なことと考えます。本市では、教育委員会をはじめ子どもの成長に関わる部署が連携して、第1次から第3次計画の基本方針を引き継ぎながら、これまでの成果と課題を踏まえて見直しを図り、『第4次所沢市子どもの読書活動推進計画』を策定しました。

本市のすべての子どもたちが、読書の楽しみを知り、いつでもどこでも自主的に読書活動を行うことができるよう、本計画に沿って取り組んでまいりますので、市民の皆様ならびに、関係諸機関の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、子どもの読書アンケートやパブリックコメント等を通じて、貴重なご意見・ご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、ご協力いただきました多くの方々に心から御礼を申し上げます。

令和6(2024)年3月

所沢市長 小野塚 勝俊

計画の策定にあたって



子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするために欠かせないものです。子どもたちを取り巻く環境は、デジタル化の進展などにより、大きく変化しています。その中で、読書は、情報を探す力や表現力、創造力を身に付けることができ、子どもたちの成長につながります。

本市では、平成21(2009)年度より、第1次から第3次まで「所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定し、計画期間における成果と課題を分析しながら、地域や学校、子どもに関わる所管課等と連携を図り、継続的に子どもの読書活動の推進に努めてまいりました。

第3次計画までの期間、社会状況の変化などを鑑み、関係機関との連携を図りながら様々な取組を行った結果、子どもたちが自主的に読書活動を行える機会や場所を設けることができました。

「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」においては、これまでの取組の充実を図るとともに、「～すべての子どもに読書の楽しみを～」を合言葉に、発達段階に応じた多様な子どもたちへの読書機会を確保し、子どもたちの読書に関する興味関心を、更に高めていきたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重な御意見をいただきました市民の皆様をはじめ、図書館協議会委員の皆様、御協力いただいた関係者の皆様に心から御礼を申し上げます。

令和6(2024)年3月

所沢市教育委員会教育長 中島秀行

目 次

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の対象	2
3 国・県の動向	3
4 計画の位置づけ	4
5 計画の期間	4

第2章 第3次計画期間における成果と課題

1 第3次計画期間における取組・成果	5
2 第3次計画成果目標達成状況	9
3 第3次計画期間における課題	16

第3章 第4次計画の基本的な考え方

1 基本理念	19
2 基本方針	20
3 計画の体系	21

第4章 計画の実現に向けた取組

1 家庭・地域での取組	22
2 保育園・幼稚園での取組	27
3 学校での取組	29
4 図書館での取組	33

第5章 評価指標および数値目標	39
-----------------	----

第6章 計画の実現に向けて

1 計画の推進体系	41
2 計画の進行管理	41

資料編

子どもの読書活動の推進に関する法律 (平成13年12月12日法律第154号)	43
子供の読書活動推進に関する有識者会議論点まとめ	45
第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画 の概要(令和5年3月)	47
第3次計画期間における取組・成果・課題一覧	54
子どもの読書アンケート調査結果 (令和元年度～令和5年度)	92
所沢市子どもの読書活動推進計画策定経過	106
所沢市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱	107
所沢市子どもの読書活動推進計画策定委員会委員名簿	109

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨

子どもは物語が大好きです。読書活動は、まだ字が読めない赤ちゃんの頃に本を読んでもらうことや、わらべうたを歌ってもらうところから始まります。この時期の読み聞かせ^{※1}によって、子どもは物語だけでなく、保護者の愛情を感じ取ることができ、心の健やかな成長を促します。

子どもは、読書活動を通じて言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていきます。子ども時代の読書は、教養・娯楽・情報収集といった大人の読書とは異なり、子ども一人ひとりの知的・情緒的・精神的発達のうえで非常に大きな役割を果たしています。

しかしながら、近年、インターネットやスマートフォン等の情報メディアの急速な発達・普及、中高生のスマートフォンの保有率の急増や、GIGA スクール構想による1人1台端末環境の整備等、家庭環境・生活環境の変化、価値観の多様化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等、子どもを取り巻く社会環境は急激に変化しています。

読書活動の推進に当たっては、全ての子どもたちの可能性を引き出すために、発達年齢等に即した読書環境を整備し、読書機会の確保に努めることが求められています。

また、令和5年3月に国から出された第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では、基本的方針として、「不読率^{※2}の低減、多様な子どもたちの読書機会の確保、デジタル社会に対応した読書環境の整備、子どもの視点に立った読書活動の推進」が挙げられています。

こうした状況に対し、所沢市では、子どもの読書活動を推進するため、平成21年3月に「所沢市子どもの読書活動推進計画」、平成26年3月に「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」、平成31年3月に「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定し、さまざまな取組を進めてきました。

第3次計画が令和5年度に最終年度を迎えることから、今後も、市の関係各部署との連携をさらに強化しながら、子どもの読書活動の推進に取り組んでいくため、ここに「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定するものです。

※1読み聞かせ：本を見せながら、読んで聞かせること。

※2不読率：1か月に本を1冊も読まない子どもの割合。(詳細は P45・46)

2 計画の対象

この計画の対象は、おおむね18歳以下の子どもとその保護者とします。また、子どもの読書活動の推進に関わる教育・福祉・保健関係者等も対象に含みます。



▲公民館子育てひろば
「ふれあいパーク」



▲秋の読書スタンプラリー 高等学校
「図書委員からのクイズ」

★電子書籍の扱いについて★

令和5年3月に策定された国の第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では、基本的方針の一つとして「デジタル社会に対応した読書環境の整備」を挙げています。社会のデジタル化や学校における GIGA スクール構想が進んできている中、多様な子どもたちへの読書機会の確保、非常時における図書等への継続的なアクセスができるよう、電子書籍の利用、学校図書館や図書館の DX（デジタルトランスフォーメーション）^{※3}を進めることが求められています。図書館では電子書籍の試行的な導入を開始し、子どもたちの健康や発達段階に配慮しつつ電子書籍の活用について研究を進めていきます。

※³DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術を活用し、生活などを変革すること。

3 国・県の動向

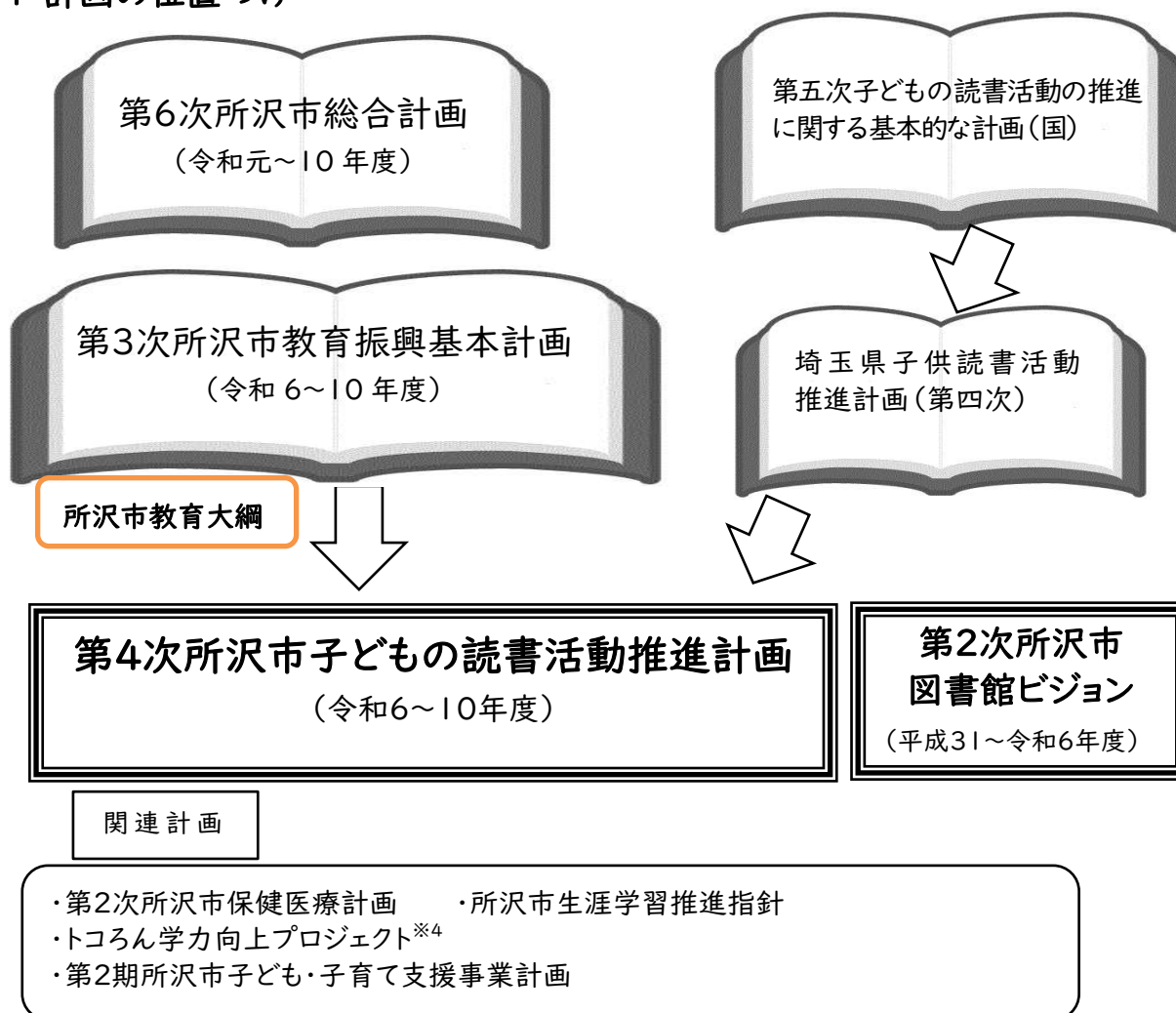
国は、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布・施行し、国を挙げて子どもの読書活動の推進に取り組む姿勢を打ち出しました。そして、同法に基づき、令和4年12月に「子供の読書活動推進に関する有識者会議論点まとめ～全ての子供たちの読む喜びを育む読書活動の推進～」を公表し、令和5年3月に第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定・公表しています。また、埼玉県では、平成31年3月に「埼玉県子供読書活動推進計画（第四次）」を策定・公表しています。

年月	国	県
H13.12	「子どもの読書活動の推進に関する法律」公布	
H14.8	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定（計画期間：H14～19）	
H16.3		「埼玉県子ども読書活動推進計画」策定（計画期間：H16～20）
H20.3	第二次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定（計画期間：H20～24）	
H21.3		第二次「埼玉県子ども読書活動推進計画」策定（計画期間：H21～25）
H25.5	第三次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定（計画期間：H25～29）	
H26.7		第三次「埼玉県子供読書活動推進計画」策定（計画期間：H26～30）
H30.4	第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定（計画期間：H30～R4）	
H31.3		第四次「埼玉県子供読書活動推進計画」策定（計画期間：H31～R5）
R5.3	第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定（計画期間：R5～R9）	

【所沢市の動向】

- ・H21.3 「所沢市子どもの読書活動推進計画」策定（計画期間：H21～25）
- ・H26.3 「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」策定（計画期間：H26～30）
- ・H28.4 所沢市立図書館本館：子供の読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰
- ・H30.4 所沢市立向陽中学校：子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰
- ・H31.3 「第3次所沢市子どもの読書活動推進計画」策定（計画期間：H31～R5）

4 計画の位置づけ



5 計画の期間

この計画の期間は、令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とします。

	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
所沢市総合計画	第6次計画									
所沢市教育振興基本計画	第2次基本計画					第3次基本計画				
所沢市図書館ビジョン	第2次図書館ビジョン						第3次図書館ビジョン			
所沢市子どもの読書活動推進計画	第3次推進計画					第4次推進計画				

※⁴トコロん学力向上プロジェクト: 所沢市学力向上推進事業として行っている計画。
(令和5年度までの名称: 所沢市学び創造アクティブ PLUS)

第2章 第3次計画期間における成果と課題

I 第3次計画期間における取組・成果

第3次計画期間における主な取組とその成果を以下に示します。なお、計画の体系に沿った取組・成果・課題の一覧につきましては、別途、資料編(P.54~91)に掲載しています。

第3次計画期間の令和2年2月より令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響の為、多くの計画が中止せざるを得ない状況でした。そのような中、各担当部署では様々な工夫をしながら計画実行に向けて尽力しました。

I 子どもの読書環境の整備・充実

- ▶ 図書館では、年齢に応じたおはなし会やかがくあそび、工作教室を実施しました。また、季節にあわせた特別行事を実施しました。(所沢図書館)
- ▶ 各保育園・幼稚園では、親子で読書を楽しんでもらえるように、絵本の貸出や園での読み聞かせ等を実施しました。また、子どもが本を手に取りやすいよう、絵本の展示を工夫するなど読書環境を整えました。(保育園・幼稚園)
- ▶ 各小中学校では、ボランティアの協力による読み聞かせ等を実施し、本に触れる機会を設けたほか、学校図書館や学級文庫の充実を図りました。コロナ禍においては、動画の配信等、工夫して読み聞かせ等を継続しました。(小中学校)
- ▶ 所沢市学力向上推進事業「所沢市学び創造アクティブPLUS」において家読^{うちどく}*5の推進を位置付けて取り組みました。(学校教育課)
- ▶ 司書教諭^{*6}の免許を持つ教員を全校に配置し、学校司書は、中学校には1校に一人の専任配置をしました。小学校は、段階的に配置を進め、1校に一人の専任配置を5校、2校に一人の兼務配置を26校としました。(学校教育課)
- ▶ 各児童館では、各年代向けのおはなし会や本の貸出、本の紹介を行いました。(児童館)

※⁵家読(うちどく):「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」を意味する。親子で本を読んでコミュニケーションすることで、家族が楽しい時間を共有することを目的とする。

※⁶司書教諭:学校図書館の専門的職務を担うために、教諭のうち司書教諭資格を有する者のなかから、学校図書館法により発令される職。

第2章 第3次計画における成果と課題

- ▶各公民館では、関連機関と連携した子育て講座等の開催の際に、絵本の読み聞かせやわらべうた、紙芝居の上演などを行いました。また、会場にて乳幼児向けブックリストの配布・設置を実施しました。(公民館・保育園・所沢図書館)
- ▶図書館では、子ども向け広報紙「ほんのりのトベア」、月間行事カレンダーを毎月1回作成し、市立図書館全館のほか小学校、保育園、市立幼稚園、児童館に配布しました。(所沢図書館)
- ▶令和元年度、図書館では、図書館司書による北小学校ほかごところへの出張おはなし会を実施しました。(所沢図書館)
- ▶令和元年度、図書館では、コロナ禍による臨時休館中において、館内に入って自由に本を選ぶことが出来ない児童に向けて、児童書おたのしみセットを作り、貸出を行いました。(所沢図書館)



▲ほかごところの様子



▶図書館見学の様子

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備

- ▶ 小学校3学年全学級および希望する他学年の学級に対し、図書館司書^{※7}による学級訪問(ブックトーク)を実施したほか、図書館見学、中学生職場体験活動、学生ボランティア体験の受け入れを実施しました。
(所沢図書館・小中学校)
- ▶ 小中学校と図書館の間に業務連絡便を運行し、調べ学習・総合的な学習の支援や、学級文庫の充実のため、図書館による学校団体貸出を実施しました。また、県立高等学校にも業務連絡便を運行し、団体貸出を実施しました。
(所沢図書館・小中学校・県立高等学校)
- ▶ 令和2年度よりこども支援課、所沢図書館、健康づくり支援課の3課が連携し、「ところっこ親子ふれあい絵本事業^{※8}」を開始しました。(関係各課)
- ▶ 所沢第二幼稚園では、近隣施設との協力による「森の図書館」を実施しました。(幼稚園・所沢図書館分館)
- ▶ 市内医療機関(小児科・産婦人科)へ、図書館発行の「乳幼児の保護者向け図書館利用案内」と、リーフレット「赤ちゃんにえほんを」を配置しました。
(所沢図書館)



▶ 森の図書館 in 荒幡富士

※⁷図書館司書:図書館に置かれる専門的職員。図書館の管理・運営、資料の収集・整理・保管、閲覧・貸出・レファレンスサービス(利用者の調べもののお手伝い)等の、図書館に固有の専門的業務に従事する。

※⁸「ところっこ親子ふれあい絵本事業」:1歳6か月児健康診査会場にて絵本の読み聞かせを行い、絵本の引換チケットを配布する事業。(当初は、4か月児健康診査が対象だったが、令和3年度から1歳6か月児健康診査へ変更)配布したチケットは、後日、図書館や地域の子育て支援施設で対象の絵本2冊から1冊選んで交換することができる。

- ▶令和元年度、令和5年度、図書館と市内県立高等学校司書との懇談会を実施し、高校生と図書館の連携につなげました。(所沢図書館・高等学校)
- ▶学校司書^{※9}研修会を年4回に増やし(コロナ禍は2回)、学校司書からの要望や実情を鑑みて、学校司書同士の情報交換の時間を設定したり、所沢図書館職員が講師となり、必要に応じて相談に応じたりしました。(学校教育課・所沢図書館)
- ▶図書館では、読み聞かせボランティア講座を実施し、ボランティアの養成および支援を行いました。(所沢図書館)
- ▶関係機関との情報交換、連絡調整のため、「所沢市子どもの読書活動推進連絡会」を毎年設置し、定期的を開催しました。(関係各課)

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発

- ▶公民館を会場にして、毎年、所沢こどもルネサンス事業「おはなしのひろば」を実施しました。(社会教育課)
- ▶図書館では、年齢に応じた小中学生向けブックリストを毎年作成・配布し、ブックリスト掲載本を展示しました。(所沢図書館・小中学校)
- ▶小中学校では、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら学校図書館の開館日や貸出冊数を増やしたり、イベント(コンクール、キャンペーン)を実施したりして、興味・関心を高めました。また、読書月間や読書週間に、「読書通帳」や「読書の木」、「読書ビンゴ」等で読んだ本の把握や意欲向上に取り組みました。(小中学校)
- ▶小中学校では、ポップ作りやしおり作りコンテスト等を行い、図書委員が主体的に取り組むようにしました。(小中学校)
- ▶高等学校図書館では、イベントや広報活動を活発に行い、図書館利用促進に努めました。(県立高等学校)
- ▶乳児家庭全戸訪問・4か月児健康診査でパンフレット「赤ちゃんにえほんを」や乳幼児向け図書館利用案内を配布しました。また、妊娠届出時にパンフレット「赤ちゃんにえほんを」を配布し、赤ちゃん向け絵本の紹介に努めました。(保健センター)
- ▶おおたかの森トラスト・みどり自然課・図書館分館との共催でイベント「みどりの森と、本の森と」を実施しました。(所沢図書館分館)

※⁹学校司書:学校図書館担当教諭のもと、学校図書館の日常業務の実務にあたる職員。

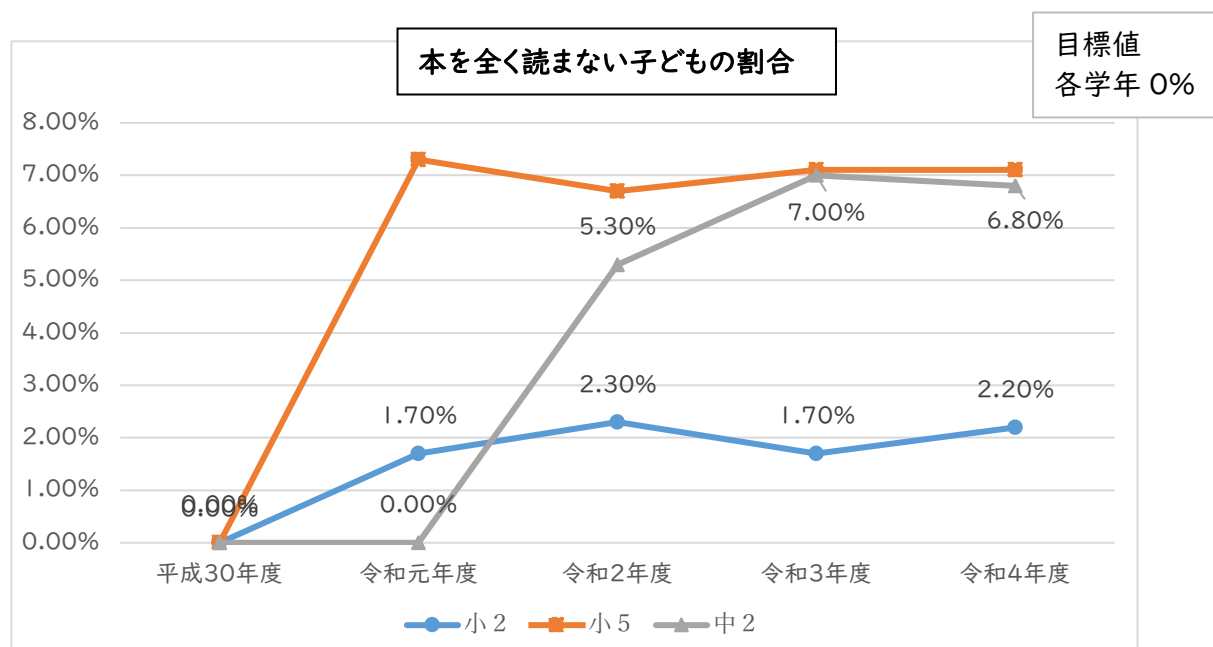
2 第3次計画成果目標達成状況

○本を全く読まない子どもの割合

市内全校による朝読書の取組により、平成30年度には調査対象の小学2年生、5年生、中学2年生の各学年0%を達成しました。

しかし、令和元年度末に起こった新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、朝読書の時間が各小中学校でとれなくなったこと等により、第3次計画中は各学年0%を達成することができていません。

第3次計画期間における、本を全く読まない子どもの割合は、小学2年生は2%前後、小学5年生及び中学2年生は7%前後を推移しており、令和4年度の割合は小学2年生は2.2%、小学5年生は7.1%、中学2年生は6.8%となりました。国の平均値(小学生6.4%、中学生18.6%/令和4年度)と比較すると市の割合は低いものの、数値目標までには程遠い状況です。小中学校において、読書習慣を形成できるような取組が必要となっています。



(所沢市子どもの読書アンケート調査^{※10}より)

※¹⁰所沢市子どもの読書アンケート調査:子どもの読書活動推進計画において、現状を把握することなどを目的として行うアンケート。対象は小学校2・5年生とその保護者および中学校2年生とし、毎年ランダムに抽出したクラスに行っている。結果の詳細は、資料編(P.92~105)を参照。

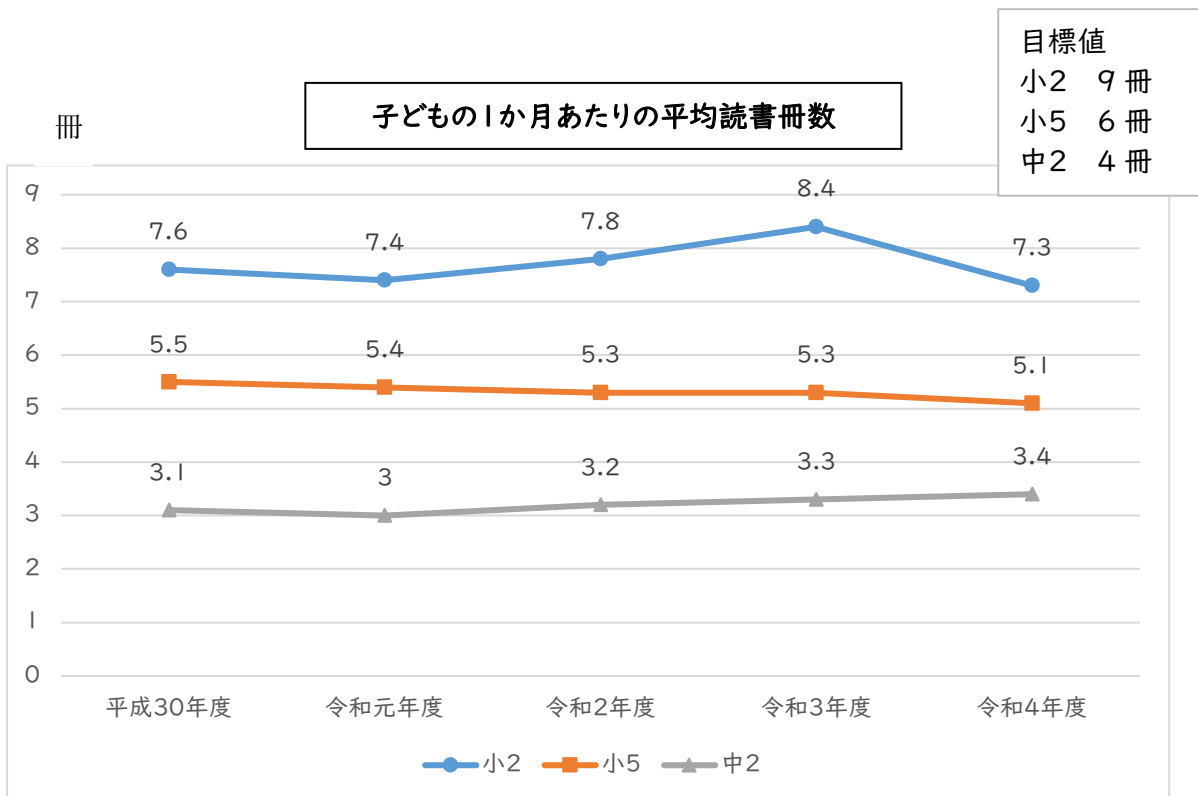
○子どもの1か月あたりの平均読書冊数

令和4年度に、小学校2年生で7.3冊（目標達成率81.1%）、小学校5年生で5.1冊（同85.0%）、中学2年生で3.4冊（同85.0%）と中学校2年生で平均読書冊数の数値が改善されましたが、小学校2年生と小学校5年生は、数値が下がりました。

月に10冊以上読む子が小学校2年生で40.6%、小学5年生で20.6%、中学2年生で8.7%と、本をたくさん読む子がいる一方、本を全く読まない子どもの割合が、小学2年生で2.2%、小学5年生で7.1%、中学2年生で6.8%でした。

また、1～2冊読む子の割合においても、小学2年生で13.2%、小学5年生で21.0%、中学2年生で47.8%となっています。（P93～106参照）

3次計画に続き、本をほとんど読まない子がいることが、目標達成できなかった要因になっていると考えられます。家庭や学校を中心に、さらに読書冊数を増やしていく取組を行うとともに、読書の楽しさやすばらしさを体験できる具体的な取組が必要です。



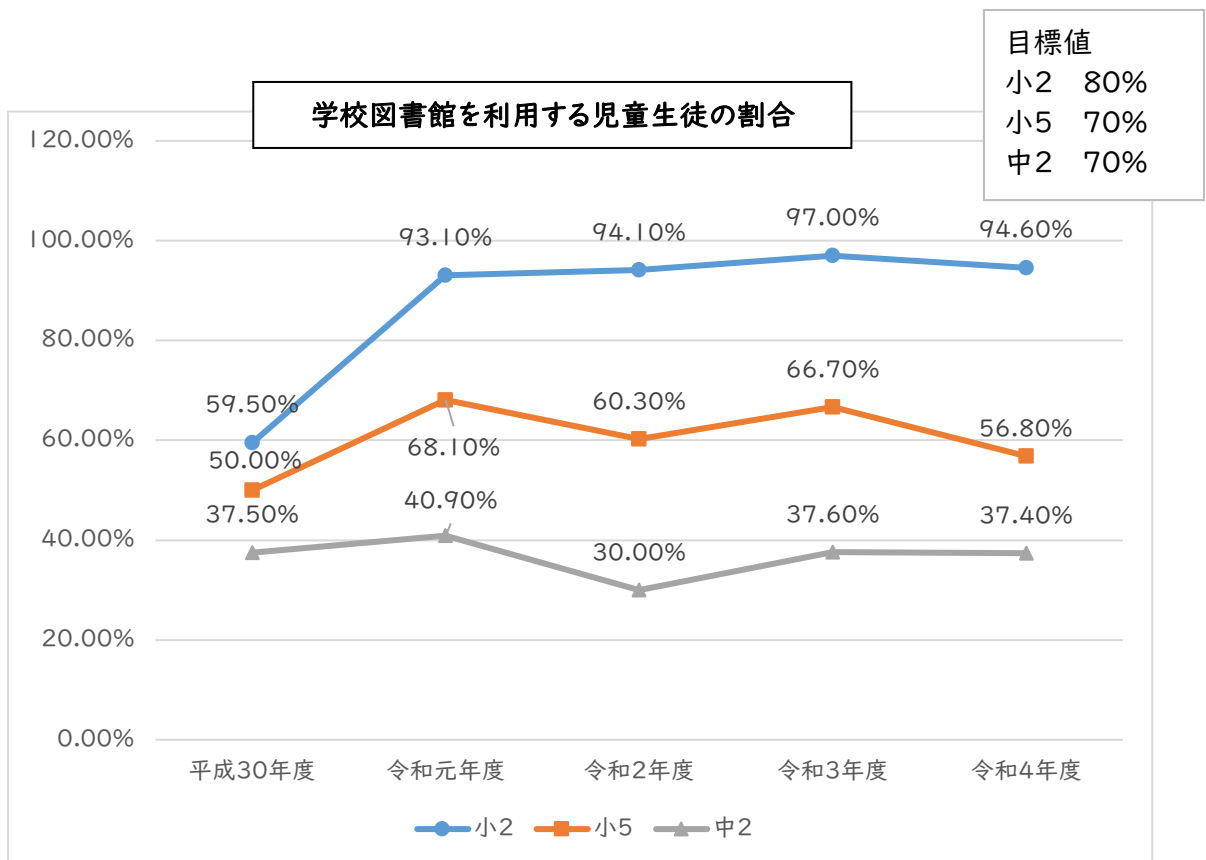
（所沢市子どもの読書アンケート調査より）

○学校図書館を利用する児童生徒の割合

小学2年生は、59.5%から 94.6%と学校図書館を利用する児童生徒の割合の数值が大幅に上昇しましたが、小学5年生では、50.0%から 56.8%と微増、中学2年生では、37.5%から 37.4%と数值が横ばいの結果でした。また、小学2年生は目標を達成できましたが、小学5年生、中学2年生は目標値を達成することができませんでした。

これは、小学2年生は、図書館見学や読み聞かせにより学校図書館が身近で利用しやすいものになっているのに対し、小学5年生や中学2年生は、新型コロナウイルス感染症のため中止になるイベントが多かったことや、密になることを避けるための対応が影響していると考えられます。

各学校は、学校図書館利用推進のため、学校図書館の活用と機能向上を図る必要があります。



(所沢市子どもの読書アンケート調査より)

○学校図書館図書標準^{※1}の達成率

学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、文部科学省が定める基準に対する達成率です。100%を下回っていますが、新規購入や古い図書の除籍等、学校により蔵書管理に差異があることが要因の一つとして考えられます。

引き続き、図書の新規購入や除籍などの適切な蔵書管理が必要です。

(単位 %)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	100	99.7	98.3	99.4
中学校	94.8	95.3	95.2	97.9

(学校図書蔵書数一覧(教育総務課調査)より)

<参考>

◎第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」の策定

令和4年1月、国は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次学校図書館計画を策定した。同計画は、全ての公立小中学校等において、「学校図書館図書標準」(平成5年3月29日付け文部省初等中等教育局長決定)の達成を目指すとともに、計画的な図書の更新、学校図書館への新聞の複数紙配備及び学校司書の配置拡充を図ることとした。

(第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」より)

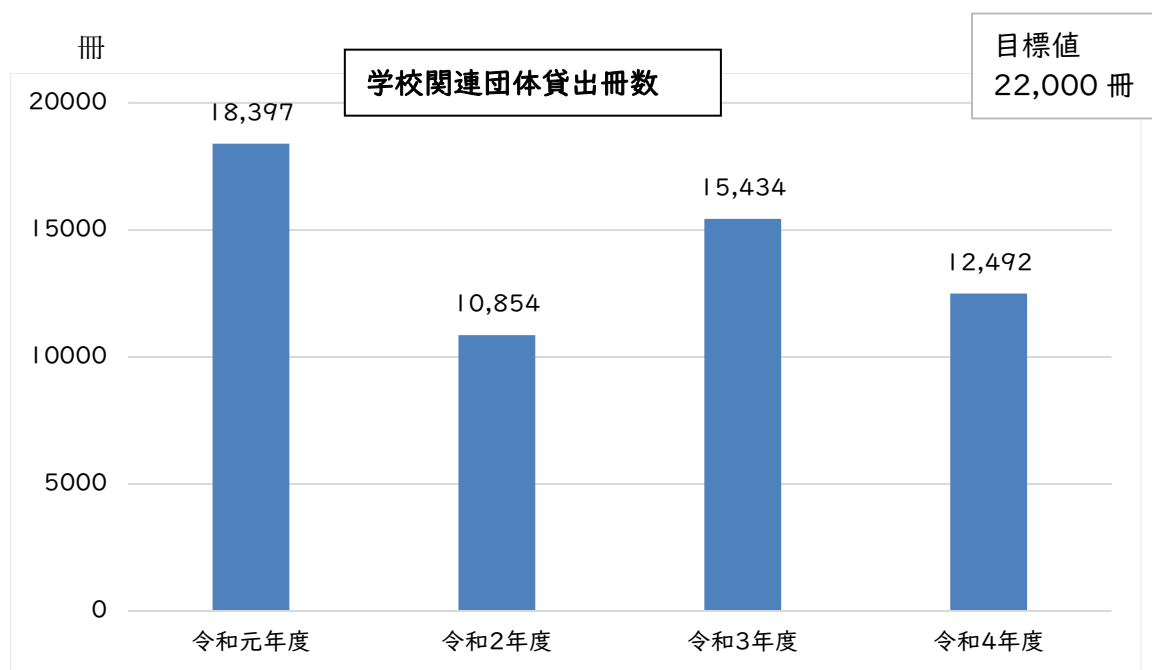


所沢市マスコットキャラクタートコロん

※1 学校図書館図書標準:文部科学省が定めた、小中学校の学校図書館の蔵書についての学校規模(学級数)に応じた整備目標

○学校関連の団体貸出冊数

市立図書館から学校関連団体（小中学校・幼稚園・保育園・高等学校・特別支援学校・児童館・放課後児童クラブ※¹²・所沢児童相談所等）に貸出した図書等の数です。貸出冊数も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で少なくなっていますが、徐々に回復してきていますので、引き続き、各施設等での読書活動が活発になるよう事業を進める必要があります。

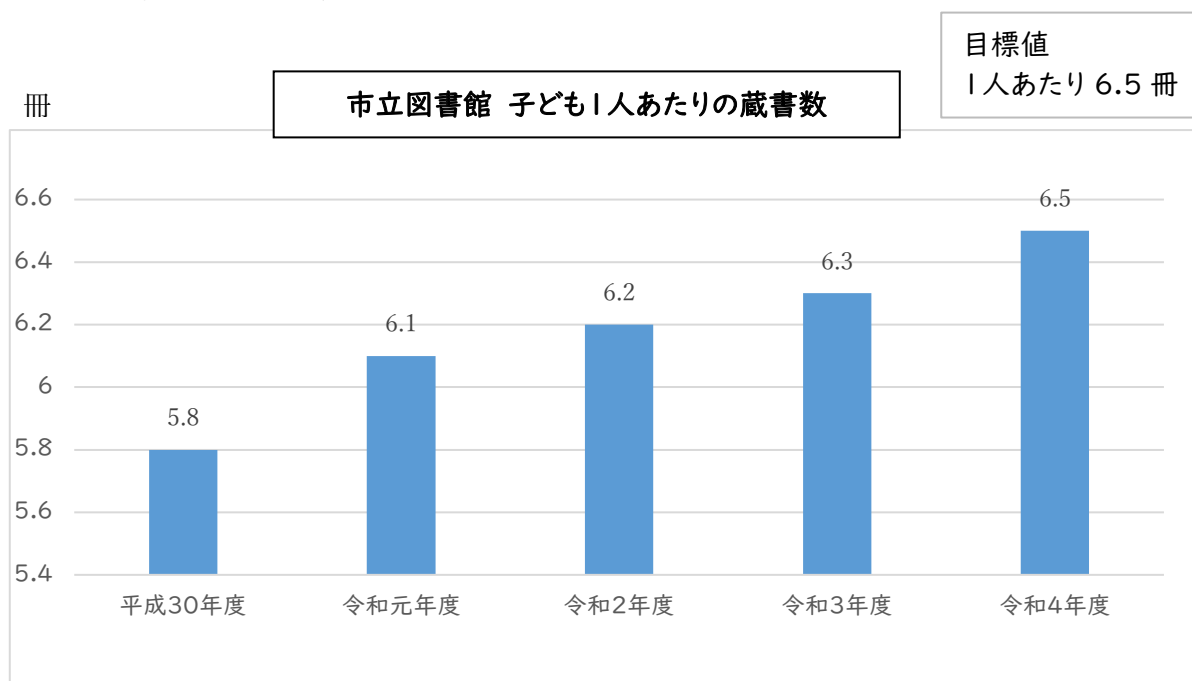


※¹²放課後児童クラブ: 放課後の留守家庭児童に、遊びや生活の場を提供し、その健全育成を目的として実施している事業。この中に児童館で預かる生活クラブも含まれる。令和5年度現在53カ所設置。

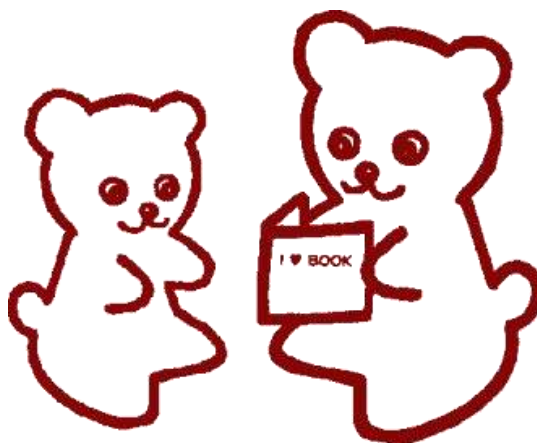
○市立図書館 子ども1人あたりの蔵書数

計画的な所沢図書館蔵書購入により、子ども1人あたりの児童書数は、5.8冊から6.5冊に増えました。児童書の総蔵書数で見ても、315,648冊から322,513冊に増えています。

第3次計画においては、目標達成に至りました。第4次計画では、さらなる充実に努めていく必要があります。



(所沢図書館統計より)



所沢図書館マスコットキャラクター
トベア

○子ども向け行事の参加者数

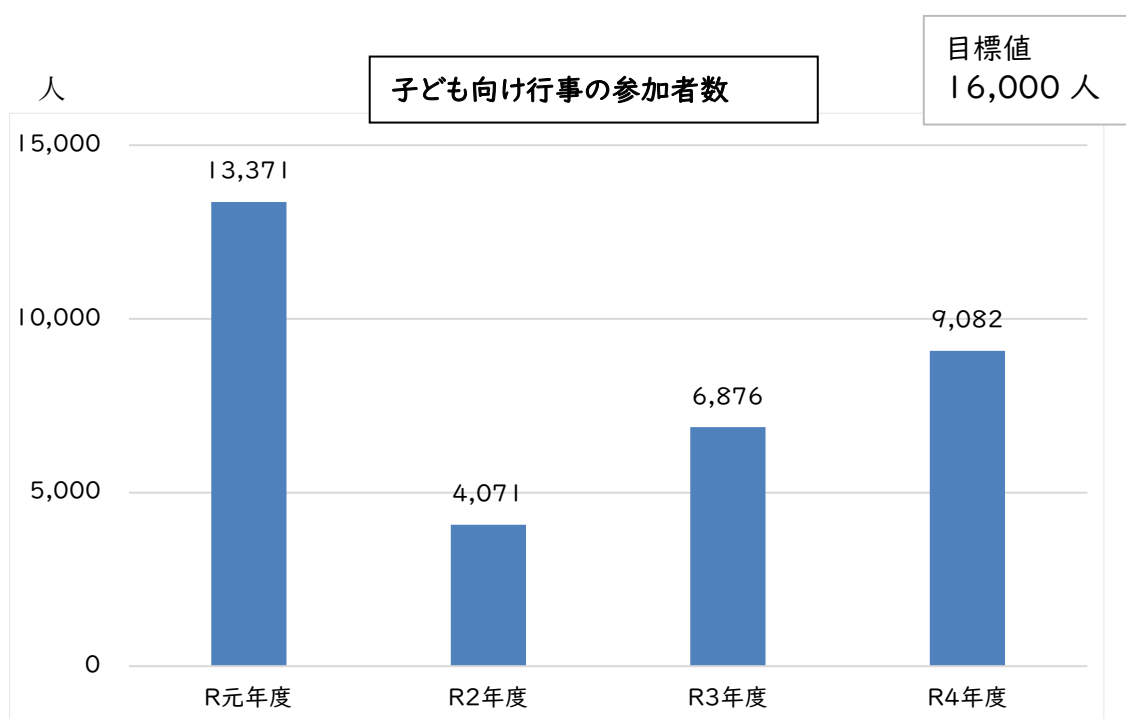
所沢図書館が実施する子ども向け行事の参加者数です。

新型コロナウイルス感染症の影響のため中止になる行事があったことや、密になることを避けるため人数制限をしての開催となった為、参加者数は大幅に少なくなっています。

徐々に制限が解除され、令和5年度にかけて新型コロナウイルス感染症対策前の状況に戻りつつあります。

子ども向け行事としては、定例のおはなし会、かみしばいの会、かがくあそび等がありますが、長期休業中や行事の時には「かがくあそびスペシャル」や「夏休み工作教室」、「クリスマスおはなし会」等の特別な行事を開催し、多くの参加者が集うようになりつつあります。

今後も、魅力ある行事を継続的に開催していくことが大切です。



(所沢図書館統計より)

3 第3次計画期間における課題

I 子どもの読書環境の整備・充実

- ▶ 各小中学校の学校図書館や学級文庫の蔵書数がまだ十分でない学校もあります。学校図書館の利用を促進するためには、魅力ある蔵書をさらに豊富に揃えていくことが重要です。また、古くなった本は定期的に整理し、子どもたちの興味を惹くような棚づくりをしていく必要があります。(小中学校)
- ▶ 子どもの本のコーナーを設けている施設のうち、スペース等の問題により、安定した読書環境が作れていない施設があります。また、限られた予算内で、新刊図書を十分に購入することが困難なため、各施設の子どもの本のコーナーの図書は古くなったものが多く、子どもたちが読みたいと思う本に出会いにくい状況です。(市内施設)
- ▶ 学校により、学校図書館の蔵書管理体制に差がある状況です。小学校に専任の学校司書を配置し、蔵書管理体制を整え、学校図書館の利用促進につながるよう努めることが重要です。(小学校・教育総務課・学校教育課)
- ▶ 朝読書の時間については、市内全校で取り組んでいますが、回数や時間等、読書の習慣化の為の学校での工夫が必要となっています。(小中学校)
- ▶ 学校ごとに作成している、図書館を活用するための計画に基づいて、学校図書館を活用した取組をさらに充実させていく必要があります。(小中学校)
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響で団体貸出を中止する団体や施設があり、貸出数が伸び悩んでいました。また、学校団体貸出について、どの学校も同じ時期に同じように授業を進めているため、欲しいと思ったときに思うように本が借りられず不便な状況が生じています。(小中学校・所沢図書館)
- ▶ 蔵書管理体制が電子化されていない学校図書館があり、必要な本の検索ができない状況です。(小中学校)
- ▶ 電子書籍は、子どもたちに読書環境を提供するうえでの新たな可能性です。デジタル化に伴い、今後整備について検討を重ねていく必要があります。(高等学校)

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備

- ▶ 子どもの読書推進にあたり、人員不足やスキル不足の影響で図書の整理、修理、書棚の増設などが困難になっている施設があります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に行っていた所沢図書館職員による研修会の再開および、相談業務や講師派遣等を活用し、職員個人のスキルアップを図る必要があります。(市内施設・所沢図書館)
- ▶ 子どもの読書活動に関する地域団体・ボランティアのネットワーク構築に関して、現状では把握しきれていない部分や、情報提供が行き渡っているかの確認がとれていない状況があります。関係機関が協力し、さらなるネットワーク体制を充実させる必要があります。(小中学校・関係各課)
- ▶ 所沢市子どもの読書アンケート調査によると、年齢が上がるにつれて、読む本の冊数や、図書館を利用する頻度が減少する傾向にあり、特に、興味や関心が広がる中学生・高校生世代において「読書離れ」が顕著になっています。しかし、心身の成長が著しいこの世代は、読書に対する興味を持てれば、自発的に豊かな読書体験を積むことができる年代でもあります。中学校・高等学校等との連携を密にしながら、限られた予算の中でどのように中学生・高校生世代の読書活動を支援していくかが課題となっています。(中学校・高等学校)
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校での読み聞かせボランティア活動が中止となりました。現在は、徐々に活動を再開し始めていますが、ボランティアが離れてしまった小学校もあり、豊かな読書活動の推進のため、読み聞かせをする機会の確保等の充実を図る必要があります。(小学校)

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発

▶乳幼児健康診査・子育て学級等、さまざまな機会を利用して保護者への啓発に努めていますが、価値観が多様化する現代社会においては、読書習慣が身についている子とそうでない子の差が大きくなっています。いかにより多くの保護者に子どもの読書活動の重要性を理解してもらえかが課題となっています。

(保健センター、公民館、幼稚園・保育園、児童館)

▶子どもたちの成長には、幼稚園・保育園、学校、家庭以外にも、公民館、児童館、図書館など、さまざまな機関が関わっています。これら子どもに関わる各機関や関係者に対し、子どもの読書活動についての理解や関心をさらに普及・啓発していく必要があります。(幼稚園・保育園、小中学校、関係各課)



▲朝読書の様子

第3章 第4次計画の基本的な考え方

1 基本理念

所沢市のすべての子どもが、
あらゆる機会とあらゆる場所において、
自主的に読書活動を行うことが
できるようにします。

読書は、子どもが心身ともに健やかに成長するために必要不可欠です。

しかし、インターネットやスマートフォン等の情報メディアが急速に普及し、子どもをとりまく生活環境や価値観が多様化するなか、子どもが自ら本に触れ、読書の楽しみを知ることは難しくなっています。

子どもが自主的に読書活動を行うことができるようになるためには、家庭・学校・地域等がそれぞれの役割を果たしながら読書環境を整備し、子どもの読書活動への理解や関心を高めるなど、さまざまな立場で子どもに関わる大人の助けが必要です。

そこで、本計画は、前章で挙げた第3次計画期間における課題を踏まえつつ、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の精神にのっとった基本理念に基づいて子どもの読書活動を推進します。

2 基本方針

基本理念の実現に向け、第4次計画では、次の3つのことを基本方針として、各組織が取組の具体化、明確化を図るため「家庭・地域」「保育園・幼稚園」「学校」「図書館」に分けてさまざまな施策に取り組んでいきます。

I 子どもの読書環境の整備・充実

読書のきっかけとなる場や本に親しむ機会を提供することで、全ての子どもが自ら進んで読書を行う習慣を身につけることができるよう、読書環境の整備と充実を図ります。

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備

子どもをとりまく学校・地域等の関係機関がそれぞれの役割を果たすとともに、相互に連携・協力することで、社会全体が一体となって子どもの自主的な読書活動を推進するための体制を整備します。

III 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発

子どもだけでなく、保護者をはじめとするまわりの大人に対しても、子どもの読書活動に対する理解を深め、関心を高めるために、さまざまな普及・啓発活動を実施します。

3 計画の体系

1 家庭・地域での取組
I 子どもの読書環境の整備・充実
(1) 家庭における読書活動の推進
(2) 地域における読書機会の提供・充実
(3) 身近に本のある環境づくり
II 学校・地域等の連携による推進体制の整備
(1) 生涯学習施設・保健施設等との連携
(2) 地域団体・ボランティア等との連携
III 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発
(1) 読書活動の啓発・広報
2 保育園・幼稚園での取組
I 子どもの読書環境の整備・充実
(1) 保育園・幼稚園における読書機会の提供・充実
(2) 身近に本のある環境づくり
II 地域等の連携による推進体制の整備
(1) 子どもの読書に関わる人材の育成
III 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発
(1) 読書活動の啓発・広報
3 学校での取組
I 子どもの読書環境の整備・充実
(1) 学校における読書機会の提供・充実
(2) 身近に本のある環境づくり
(3) 学校図書館の機能充実
II 学校・地域等の連携による推進体制の整備
(1) 子どもの読書に関わる人材の育成
(2) 松井小学校図書館と地域の連携
III 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発
(1) 読書活動の啓発・広報
4 図書館での取組
I 子どもの読書環境の整備・充実
(1) 図書館における読書機会の提供・充実
(2) 図書館の機能充実
II 学校・地域等の連携による推進体制の整備
(1) 図書館利用教育の推進
(2) 学校図書館への支援
(3) 推進体制の整備
(4) 子どもの読書に関わる人材の育成
III 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発
(1) 読書活動の啓発・広報
(2) 優良な図書の普及

第4章 計画の実現に向けた取組

Ⅰ 家庭・地域での取組

Ⅰ 子どもの読書環境の整備・充実

(1) 家庭における読書活動の推進

○ 家読(うちどく)の推奨(小中学校・学校教育課)

「うちどくの日(毎月23日)」を活用して、子どもの読書活動の重要性について、小中学校等において保護者を啓発するとともに、定期的に家読用に図書の出借をするなど家読推進に取り組みます。

○ 「親子おはなし会」の充実(所沢図書館・保育園)

市立保育園の保育士やボランティアとさらなる協力体制をつくり、乳幼児とその保護者を対象とする「親子おはなし会」を、定期的かつ継続的に実施します。

また、絵本やわらべうたなどの紹介を行うことで、保護者に本を利用した子育てを提案します。

○ 子どもの読書に関する相談サービス(所沢図書館)

新刊や季節の本の案内、子どもの興味や年齢等に応じた読書相談や調べ物の支援等、家庭における読書活動を支援します。

また、職員の技術向上等により、子どもの読書に関する相談・レファレンス^{※13}をさらに充実させ、読書活動を支援します。

○ 保護者への働きかけ(幼稚園・保育園)

幼稚園において、保護者の膝の上に子どもを乗せて読み聞かせを行うカンガルータイムを設け、終了後の本の貸出により家庭における読書機会を増やします。

また、保育園においておたより、懇談会、保育士体験等を通じて子育ての中に絵本が定着できるように働きかけます。

※¹³レファレンス:利用者の調べもの、探しものを図書館職員が手伝うこと。

(2) 地域における読書機会の提供・充実

○ 児童館における読書機会の提供・充実(児童館)

図書の実充を図り、子どもと保護者がともに楽しめる読み聞かせ等の催し物を周知・開催します。

また、ところっこ親子ふれあい絵本事業の絵本引換場所として読書機会の提供の拡大を図ります。

○ 公民館における読書機会の提供・充実(公民館)

各館で実施している子育て講座等の機会を活用して絵本の紹介や読み聞かせを行います。図書・絵本コーナーの実充を図り、乳幼児用ブックリストや図書館利用案内の配布を行い、読書機会を増やします。

○ 放課後における読書機会の提供・充実

(学校教育課・小学校・児童館・放課後児童クラブ・所沢図書館)

ほうかごところ・ほうかご広場^{※14}では、学校の協力を得ながら学校図書館を利用し、本に触れる機会を増やします。児童館や放課後児童クラブにおいては、支援員等の活動により読み聞かせ等の機会を増やします。

また、図書館の団体貸出^{※15}の利用や、施設の図書の拡充を図り、放課後の子どもたちの居場所に本を備え、読書機会の提供の拡大を図ります。

▶やなぎ児童館

職員による月2回の『読み聞かせ』の様子



※¹⁴ほうかごところ・ほうかご広場:放課後の留守家庭児童の安心・安全な居場所づくりの取組として、小学校を利用して開設。11校に開設。

※¹⁵団体貸出:図書館に登録した地域の施設やグループが1回につき100冊まで本を借りることができるサービス(貸出期間:2か月 貸出冊数:1団体最大200冊)。

(3) 身近に本のある環境づくり

○ ところっこ親子ふれあい絵本事業

(こども支援課・健康づくり支援課・所沢図書館)

1歳6か月児健康診査会場でボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、図書館や、児童館や保育園などの地域の子育て支援施設で対象の絵本2冊から1冊選んで交換が出来る、絵本の引き換えチケットを配布します。絵本の読み聞かせを通じて親子の絆を深めること、また絵本の交換のために地域の身近な子育て支援施設を利用することにより、子育ての不安解消や孤独防止を図り、子どもたちの健やかな成長を促します。

※令和2年度は4か月児健康診査が対象でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で4か月児健康診査が集団健診から医療機関での個別健診へ移行したため、令和3年度から対象を1歳6か月児健康診査へ変更し、交換できる本も変更しました。

○ 子どもの本のコーナーの充実

(児童館・放課後児童クラブ)

図書の購入及びリサイクル本の活用により、児童館・児童クラブ等に設置されている子どもの本のコーナーの充実に努め、子どもが本を手に取りたくなるように工夫します。

○ 地域団体への支援(所沢図書館・公民館)

公民館等を拠点に活動している地域文庫やサークル等、子どもの読書に関わる団体を支援することで、子どもたちが地域で気軽に本に触れられる環境を整備します。

▶ところっこ親子
ふれあい絵本事業の様子



II 学校・地域等の連携による推進体制の整備

(1) 生涯学習施設・保健施設等との連携

○ 家庭教育学級・子育て講座・出前講座^{※16}等への協力

(所沢図書館・公民館・社会教育課)

小中学校、公民館等において実施する家庭教育学級・子育て講座・出前講座^{※16}等に図書館司書を派遣し、専門知識を活かした読書活動の重要性についての講義や、図書館の利用案内等を行います。

○ リーフレットの配布・活用(所沢図書館・保健センター)

乳児家庭全戸訪問時に、図書館が作成している「乳幼児の保護者向け図書館利用案内」や絵本の紹介リーフレット「赤ちゃんにえほんを」等を配布し、普段は図書館に来館しない保護者に対しても、読書活動の重要性や図書館の利用方法について周知します。また、保健センターへ妊娠届出に来所した妊婦が手に取れるよう窓口へ配架もします。

(2) 地域団体・ボランティア等との連携

○ 地域団体・ボランティアのネットワーク構築

(所沢図書館・公民館・小中学校・社会教育課)

地域文庫や親子読書会、読み聞かせサークル等、子どもの読書にかかわる地域団体・ボランティア間の情報交換・交流促進を図り、協働して子どもの読書活動を推進します。

また、情報の収集・提供等により地域団体の活動を支援します。

※¹⁶出前講座:社会教育課が所管する「生涯学習まちづくり出前講座」のこと。市役所の仕事やしくみ、その他市政に関するさまざまな分野のメニューを用意し、市内在住、在勤、在学の10名以上のグループの希望に応じて、市職員が出向いて話をする事業。

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発

(1) 読書活動の啓発・広報

○ 子どもの読書活動に関する広報の充実

(公民館・児童館・社会教育課・所沢図書館)

公民館だより等の媒体を活用して、子どもの読書活動の重要性を啓発します。また、子どもの読書活動に関する情報を積極的に発信します。

○ 講演会・講座の開催(公民館・社会教育課)

子どもの読書に関する講演会や講座を開催して、子どもの読書活動の意義について啓発します。

○ 幼児健康診査や子育て講座等における啓発

(保健センター・公民館・保育園・児童館・こども支援課・所沢図書館)

保健センターにおいて実施している幼児健康診査等の様々な母子保健事業や、公民館等において実施している子育て講座等の機会を活用して、絵本の読み聞かせやわらべうたの紹介を行います。

また、図書館が作成している「乳幼児の保護者向け図書館利用案内」やブックリスト「赤ちゃんにえほんを」の配布、催し物の案内、図書の充実等を行い、保護者への紹介を継続して行います。

1歳6か月児健康診査時には、絵本の読み聞かせと絵本の引換チケットを渡す「ところっこ親子ふれあい絵本事業」を実施します。



◀「乳幼児の保護者向け図書館利用案内」とブックリスト「赤ちゃんにえほんを」

2 保育園・幼稚園での取組

I 子どもの読書環境の整備・充実

(1) 保育園・幼稚園における読書機会の提供・充実

○ 保育園・幼稚園における読書の習慣化への取組

(保育園・幼稚園)

年齢に応じて絵本やおはなし、紙芝居等を取り入れた保育を行うほか、家庭への絵本の紹介、貸出を行います。

子どもが主体となり、図書館で好きな本を借りる機会を設けるなど、絵本を楽しむ機会を作ります。

地域との連携を図り、読み聞かせや行事を行います。

(2) 身近に本のある環境づくり

○ 子どもの本のコーナーの充実(保育園・幼稚園)

図書の購入及びリサイクル本の活用により、保育園・幼稚園等に設置されている子どもの本のコーナーの充実に努め、子どもが本を手に取りたくなるように配置を工夫します。

○ 多様化に対応する絵本の充実(保育園)

各年齢に応じた絵本・点字絵本・外国語で書かれた絵本などを購入して、多様化に対応します。

Ⅱ 地域等の連携による推進体制の整備

(1) 子どもの読書に関わる人材の育成

○ 保育士等の資質向上(保育園・幼稚園・児童館)

保育士・幼稚園教諭等の子どもの読書活動に関する研修を実施し、年齢・発達に合わせた絵本リストを作成する等、知識の向上と理解促進を図ります。

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発

(1) 読書活動の啓発・広報

○ 子どもの読書活動に関する広報の充実(保育園・幼稚園)

保育園・幼稚園だより等の媒体を活用して、子どもの読書活動の啓発に努めます。また、保護者に対して子どもの読書活動に関する情報を積極的に発信します。

QRコードを活用した、より多くの情報の発信や電子黒板の活用等、紙ベース以外の情報交換についても取り組んでいきます。

3 学校での取組

I 子どもの読書環境の整備・充実

(1) 学校における読書機会の提供・充実

○ 小中学校における読書の習慣化への取組(小中学校・学校教育課)

- 小中学校では、読書指導の改善を図り、朝読書、読み聞かせ、読書の目標設定、ブックトーク、読書ビンゴ、ビブリオバトル^{※17}など、様々な本に触れる機会を設けることや、図書委員等の子どもたちが主体的に活動する機会を通して、読書活動のきっかけづくりや、習慣化に向けた取組をします。
- 各教科等において、学校図書館の機能を計画的に利活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を図ることで、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を促します。
- 学校図書館を、各校の状況に配慮した上で、児童生徒や教職員が最大限に利用できるよう支援します。



▶ 荒幡小学校での
取組の様子

※¹⁷ビブリオバトル:知的書評合戦とも呼ばれるゲーム。発表者がそれぞれのおすすめ本を紹介し、その中から観覧者が一番読みたいと思った本に投票してチャンプ本を決定する。

○ 高等学校における読書の習慣化への取組(所沢図書館・高等学校)

市内の高等学校においては、各校が各種イベントを実施し、学校図書館の蔵書を整備するとともに、市内の県立高等学校6校を含めた入間地区の県立・私立高等学校15校が連携して、興味・関心が広がる高校生の要望に的確に応えられるよう取り組んでいます。市立図書館は、団体貸出や相互貸借^{※18}の利便性を高める等、市内の県立高等学校における生徒の読書活動を支援します。

○ 特別支援学校における読書の習慣化への取組(所沢図書館・特別支援学校)

市内の特別支援学校においては、校内に図書閲覧スペースを確保する、児童生徒からの希望図書アンケートに基づいて購入図書の選定を行う等の取組により、子どもたちがそれぞれの興味・能力にあわせた読書活動ができるよう取り組みます。市立図書館はリサイクル図書を提供して読書機会を増やし、また、専門性を活かして特別支援学校における読書活動を支援します。

(2) 身近に本のある環境づくり

○ 学級文庫・読書スペース・図書コーナー等の充実(小中学校)

図書の購入及びリサイクル本や団体貸出等の活用により、日常的に本に触れられる学級文庫や、読書スペース・図書コーナー等を設置し・充実させます。

○ 学級文庫・図書コーナー等の充実(高等学校)

生徒向け図書館アンケートの実施、教職員向け図書館だよりの発行、展示本コーナーの増設等に取り組みます。

○ タブレットの活用(特別支援学校)

校内にWi-Fiを整備、子ども一人ひとりにタブレットを準備し、電子絵本や文字の読み書きのアプリなどの活用を、子どもの実態に応じて実践します。

※¹⁸相互貸借: 自館で所蔵していない本等を、県や他市町村の図書館から借り受けること。

(3) 学校図書館の機能充実

○ 学校図書館を活用した指導の充実(小中学校・学校教育課)

校長のリーダーシップのもと、司書教諭を中心にすべての教職員、学校司書、地域のボランティア等が連携し、研修の充実を図り、指導計画を改善し、「学習・情報センター」「読書センター」の機能を高め、学校図書館を活用した指導を充実させます。

○ 子どもの本の選定・収集の充実(小中学校・教育総務課)

図書館司書による専門性を活かした助言を受けながら、調べ学習・教科関連図書の収集や新聞の購入及び活用、新刊の選定に努めます。併せて、図書館からのリサイクル本を活用して蔵書の充実を図るなど、子どもたちが行きたくなる学校図書館づくりと同時に、学校図書館図書標準の達成を目指します。

また、蔵書の充実にともなう貸出・返却処理等の簡素化、蔵書管理の効率化を図る方策を検討していきます。

○ 学校司書の配置の充実(学校教育課)

小中学校に専任の学校司書の配置を進め、学校司書と、司書教諭、学校図書館主任^{※19}、図書委員会、学校支援ボランティア等が連携して、本を手に取りやすい展示の工夫や本の内容紹介等を行い、学校図書館の利用促進を図ります。

○ 蔵書管理体制や館内の環境整備(高等学校)

クラウドシステムやOPAC、Google クラウドルームなどを活用し、所蔵資料の検索や学校外からのシステム利用を可能にするなど、利用しやすい環境を整備します。

また、高等学校における電子書籍導入に向けて、研修を実施する等、準備を進めていきます。

※¹⁹学校図書館主任:学校の校務分掌のなかに置かれ、学校図書館の運営等に携わる職

Ⅱ 学校・地域等の連携による推進体制の整備

(1) 子どもの読書に関わる人材の育成

○ 司書教諭・学校司書等の資質向上(所沢図書館・学校教育課)

司書教諭・学校司書等の資質向上のため、計画的に研修を実施するとともに、相互の情報交換を行います。

(2) 松井小学校図書館と地域の連携

○ 松井小学校図書館の機能充実(小学校・学校教育課・所沢図書館)

地域開放型の学校図書館である松井小学校図書館の機能充実を図り、地域との連携を深め、子どもたちの読書活動推進に取り組みます。

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発

(1) 読書活動の啓発・広報

○ 子どもの読書活動に関する広報の充実(小中学校)

学校だより・学校図書館だより等の媒体を活用して、子どもの読書活動の啓発に取り組みます。

また、保護者に対して子どもの読書活動に関する情報を積極的に発信します。



◀学校図書館司書研修の様子

4 図書館での取組

I 子どもの読書環境の整備・充実

(1) 図書館における読書機会の提供・充実

○ 「子ども読書の日」の普及(所沢図書館)

所沢市文庫・親子読書会連絡会^{※20}やボランティアの協力によるおはなし会など、関連行事を開催することにより、「子ども読書の日」(4月23日)の普及を図ります。

○ 「おはなし会」等の充実(所沢図書館)

子どもたちに絵本や昔話に親しむ機会を提供するために、年齢や季節に応じた「おはなし会」等を実施します。

○ 「かがくあそび」・「工作教室」等の充実(所沢図書館)

「かがくあそび」や「工作教室」を実施することで、子どもたちの知的好奇心を育てます。同時に、知識の本に触れるきっかけを作ることで、子どもたちの読書の世界を広げます。

(2) 図書館の機能充実

○ 子どもの本の選定・収集の充実(所沢図書館)

子どもたちの知的欲求を満たし、心に深く届く良質な本を収集するため、引き続き計画的に購入図書を選定を行うとともに、寄贈図書の受入等により、児童書の適切な蔵書管理をしていきます。

○ 子ども向けサービスの充実(所沢図書館)

各種子ども向け行事のほか、「こどもの読書週間」^{※21}関連事業、子どもの本に関する講演会等を行います。

※²⁰所沢市文庫・親子読書会連絡会：市内で文庫・親子読書活動を行い、図書館より本等の貸出を受けている団体で構成される連絡会。事務局は所沢図書館。

※²¹こどもの読書週間：4月23日(子ども読書の日)から5月12日の約3週間。

○ 子ども向け広報の充実(所沢図書館)

子ども向け広報紙「ほんのりのトベア」をはじめとする行事 案内を充実させます。

○ 読書活動に配慮が必要な子どもへの支援(所沢図書館)

【障害のある子どもへの支援】

特別支援学校等との連携・協力のもと、施設面において利用しやすい図書館づくりを進めます。

また、点字資料、録音資料、布絵本等、障害に応じた資料を提供していきます。展示コーナーに、りんごの棚^{※22}を設置して関連本を展示し、周知を図ります。

【日本語を母語としない子どもへの支援】

外国語図書や日本語の学習に役立つ図書の収集拡大と周知を行います。

【入院中の子どもへの支援】

防衛医科大学校病院院内学級「ひまわり」への出張おはなし会を実施するなど、入院中などで図書館への来館が困難な子どもへのサービス提供を進めていきます。

○ ティーンズ向けサービスの充実(所沢図書館)

読書離れの著しいティーンズに向けての講演・講座、イベントの企画や蔵書の構築など、民間図書館との連携も視野に入れながらサービスの充実を図ります。



▶りんごの棚

※²²りんごの棚:スウェーデン発祥の「特別なニーズのある子どもたちのための資料を展示した棚」のこと。すべての子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうことを目的とする。

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備

(1) 図書館利用教育の推進

○ 図書館司書による学級訪問(ブックトーク)の充実(所沢図書館)

図書館司書が小学校3学年の全学級を訪問し、本の紹介・図書館の利用案内を行います。また、他の学年からの要望に応じて学級訪問を実施します。

○ 図書館見学の受け入れ(所沢図書館)

学校や幼稚園・保育園からの要望に応じて、来館した子どもたちに対し、図書館の利用案内、館内見学、読み聞かせ等を実施します。

○ 図書館職場体験・ボランティア体験の受け入れ(所沢図書館)

小中学校および高等学校、特別支援学校からの要望に応じて、児童生徒の職場体験・ボランティア体験を受け入れます。貸出・返却・配架等の業務を体験してもらうことで、図書館に親しむ機会を提供し、読書への関心を高めます。

(2) 学校図書館への支援

○ 学校団体貸出の利用促進(所沢図書館)

学校の希望に応じ、調べ学習、学級文庫等に利用する本の団体貸出を実施します。

○ 学校連絡業務便の運行(所沢図書館・小中学校・高等学校)

図書館と小中学校及び市内県立高等学校の間に連絡業務便を運行し、学校団体貸出等の利便性を高めます。

○ 図書館司書による情報提供(所沢図書館)

図書館司書が、学校図書館担当教諭及び司書教諭、学校司書等に、専門知識を活かした情報提供を行い、学校における図書館を活用した取組を支援します。また、学校図書館の展示や本の紹介、子どもの本の選書等についての相談に応じます。

(3) 推進体制の整備

○ 所沢市子どもの読書活動推進連絡会の開催

(所沢図書館・学校教育課・経営企画課・財政課・公民館〔まちづくりセンター〕・こども支援課・児童館・放課後児童クラブ〔青少年課〕・幼稚園・保育園〔保育幼稚園課〕・保健センター〔健康づくり支援課〕・教育総務課・社会教育課・高等学校・特別支援学校・中学校・小学校)

所沢市子どもの読書活動推進連絡会を設置・開催し、関係機関の継続的な情報交換・連携調整を行います。

○ 乳幼児向けサービスに関する情報交換

(所沢図書館・保育園・幼稚園・児童館・公民館・保健センター・地域子育て支援センター)

乳幼児向けサービスに係る機関の間で情報交換を行い、施設間での連携や新たな講座開設を目指します。

○ ティーンズ向けサービスに関する情報交換

(所沢図書館・中学校・高等学校・児童館)

ティーンズ向けサービスに係る機関の間で情報交換を行い、各施設で読書習慣をつくるための取組や近隣施設との連携を目指します。

○ 障害児向けサービスに関する情報交換

(所沢図書館・小中学校・特別支援学校)

小中学校の特別支援学級および市内の特別支援学校と図書館が情報交換を行うことで相互理解を深め、連携・協力して障害のある子どもたちの読書活動を支援します。



◀図書館司書による
学級訪問(ブックトーク)の様子

(4) 子どもの読書に関わる人材の育成

○ 児童サービス担当司書の育成(所沢図書館)

児童サービスに携わる司書を育成するとともに、より専門性を向上させるために研修の充実を図ります。

○ 読み聞かせ・おはなしボランティアの育成・支援(所沢図書館)

読み聞かせやおはなしに携わるボランティアの養成及び技術向上のための講座を開催します。また、小中学校や地域等で活動する読み聞かせボランティア等に対する支援を行います。



▲ボランティアの協力による
「かみしばいの会」



▲令和5年度おはなし会ボランティア講座

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発

(1) 読書活動の啓発・広報

○ 子どもの読書活動に関する広報の充実(所沢図書館)

図書館だより等の媒体を活用して、子どもの読書活動の重要性を啓発します。

また、図書館ホームページの充実を図り、子どもの読書活動に関する情報を積極的に発信します。

○ 講演会・講座の開催(所沢図書館)

子どもの読書に関する講演会や講座を開催して、子どもの読書活動の意義について啓発を図ります。

(2) 優良な図書 の普及

○ 年齢に応じたブックリストの作成・配布(所沢図書館)

年齢に応じたおすすめの本を紹介するブックリストを作成し、図書館、学校等を通じて配布するほか、図書館ホームページにも掲載します。学校へのブックリストの配布方法については、電子媒体での対応に取り組みます。乳幼児向けブックリスト「赤ちゃんにえほんを」は、図書館やこども支援センター(子育て支援)、市内医療機関での配布、さらに妊娠届出時等、保健センターにおいて実施している様々な母子保健事業の機会を利用した配布も行います。

また、ブックリストに掲載した本を展示し、貸出の促進を図ります。



◀小中学生向けブックリスト
「ほんがいっぱい よんでみよう!」

第5章 評価指標および数値目標

本計画の進捗状況を把握し、達成度を計るための指標として、次の7項目を掲げます。

○本を全く読まない子どもの割合(単位:%)

現状値 (R5)		目標値 (R10)		解説
小2	3.1	小2	0.0	
小5	11.1	小5	0.0	
中2	13.0	中2	0.0	

※本を全く読まない子どもの割合の現状値についてはP.9を参照

○子どもの1ヶ月あたりの平均読書冊数(単位:冊)

現状値 (R5)		目標値 (R10)		解説
小2	8.1	小2	9	
小5	5.1	小5	6	
中2	3.2	中2	4	

○学校図書館を利用する児童生徒の割合(単位:%)

現状値 (R5)		目標値 (R10)		解説
小2	95.0	小2	70	
小5	60.1	小5	60	
中2	42.4	中2	50	

※子どもの自主的な利用を把握するため、授業での利用を含まない割合へ変更する。

第5章 評価指標および数値目標

○学校図書館図書標準の達成率(単位:%)

現状値 (R4)		目標値 (R10)		解説
小学校	99.4	小学校	100	
中学校	97.9	中学校	100	

※学校図書館図書標準についてはP.12 注釈を参照

○学校関連の団体貸出冊数(単位:冊)

現状値 (R4)	目標値 (R10)	解説
12,492	20,000	市立図書館から学校関連団体(小中学校・幼稚園・保育園・高等学校・特別支援学校・児童館・放課後児童クラブ等)に貸出した資料の数

○子ども1人当たりの児童書数(単位:冊)

現状値 (R4)	目標値 (R10)	解説
6.5	6.5	市立図書館が所蔵する児童書数を、0~18歳人口で割った数

○子ども向け行事の参加者数(単位:人)

現状値 (R4)	目標値 (R10)	解説
9,076	16,000	市立図書館が実施する子ども向け行事の参加者数

第6章 計画の実現に向けて

1 計画の推進体系

子どもたちの読書を推進するにあたって、関係部署・機関・団体との連携を密にし、読書活動がより活発化するよう取組を進めます。

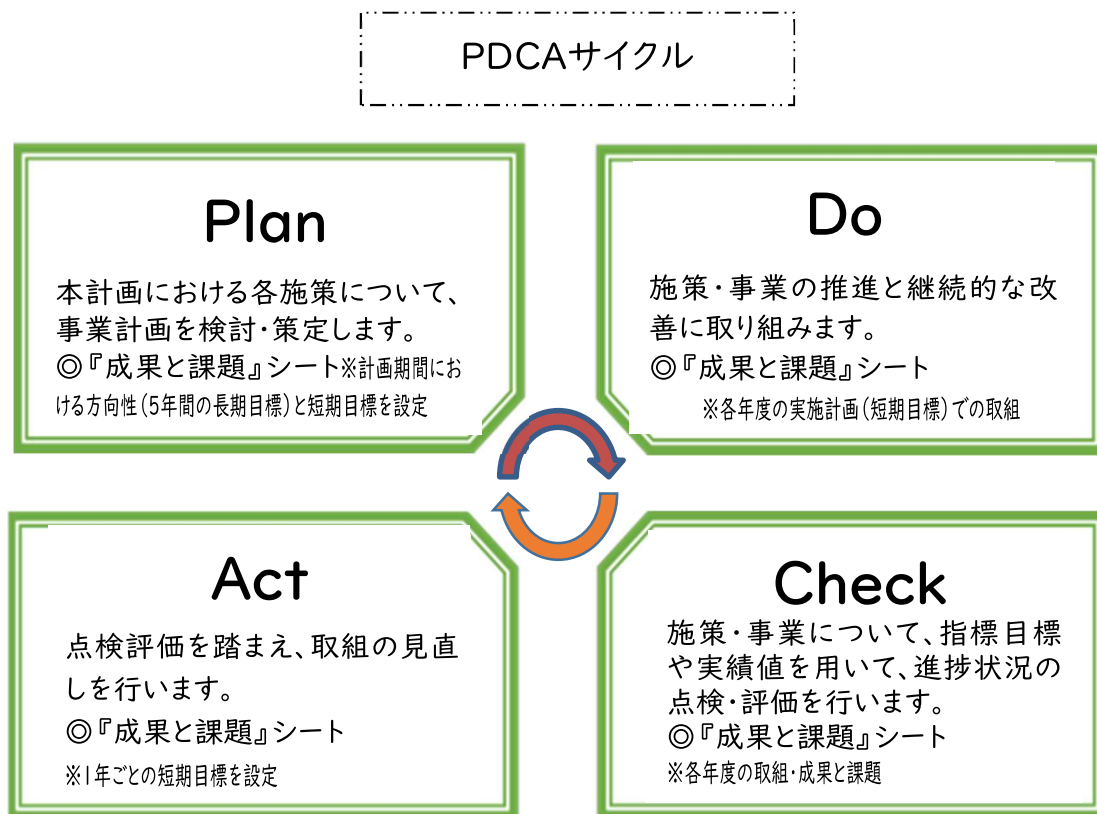
さらに、「所沢市子どもの読書活動推進連絡会」を設置し、計画に掲げた事業の実施状況を評価しながら、効果的に計画を推進していきます。

2 計画の進行管理

本計画については、PDCAサイクルにより進行管理を行い、本計画第5章に掲げた目標の進捗状況や実施事業について、毎年度、点検・評価します。

そのために、「所沢市子どもの読書活動推進連絡会」にて施策の進捗状況を確認するとともに、点検・評価については「教育委員会会議」「所沢市立所沢図書館協議会」「社会教育委員会会議」などで広く御意見を伺ってまいります。

また、小中学生と小学生の保護者を対象とした「所沢市子どもの読書アンケート調査」を実施し、本市の子どもの読書活動の現状を把握しながら、施策・事業を改善・見直しし、本計画を推進してまいります。



資料編

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)

(法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

子供の読書活動推進に関する有識者会議 論点まとめ ～全ての子供たちの読む喜びを育む読書活動の推進～

(令和4年12月)

目次

はじめに

第1 近年における子供の読書活動に関する状況等

- I 家庭・地域・学校の取組状況について
- II 子供の読書の状況等について

第2 基本の方針

- I 不読率^{※2}の低減
- II 多様な子供たちの読書機会の確保
- III デジタル社会に対応した読書環境の整備
- IV 子供の視点に立った読書活動の推進

第3 子供の読書活動の推進体制等

- I 市町村の取組等
- II 都道府県の取組等
- III 国の取組等

第4 子供の読書活動の推進方策

- I 共通事項
- II 家庭
- III 地域
- IV 学校等
- V 民間団体

おわりに

※²不読率：1か月に本を1冊も読まない子どもの割合…公益財団法人全国学校図書館協議会等が実施する「学校読書調査」に基づき、「5月1か月間に読んだ本の冊数が0冊」の児童生徒の割合を「不読率」としている。

子供の読書活動推進に関する有識者会議 論点まとめ(一部抜粋)

第2 基本的方針

I 不読率の低減

○前述のとおり、子供の不読率は、数値目標までの改善は図られていない。子供の読書活動の意義を踏まえれば、全ての子供たちが本に接することができるようにすることが重要である。

○不読率の改善に向け、学校図書館に関するオリエンテーション等の学校種間の移行段階に着目した取組、読書に興味のない子供も親しみやすい講座、体験活動等と連動した取組等の充実に努めることが考えられる。また、小学校1年生の不読率に就学前の読み聞かせの実施が影響を与えているとの指摘もあり、乳幼児期からの読み聞かせを推進することが重要である。

○高校生の不読率は、小学生、中学生に比して、高い状況が続いており、現行基本計画において、高校生の不読率の改善が主要な課題に位置付けられた。現行基本計画では、読書を行っていない高校生は、中学生までに読書習慣が形成されていない者と、高校生になって読書の関心度合いが低くなり本から遠ざかっている者に大別されると分析し、前者には発達段階に応じて読書習慣の形成を一層効果的に図り、後者には読書の関心度合いが上がるような取組を推進する必要があるとした。

○高校生の不読の状況については、電子書籍を利用した読書経験等、大人に近い部分もあり、大人の不読の分析やその対応との連続性を勘案することも重要である。子供だけに区切らず、大人も含めての読書活動の推進計画をつくる地方公共団体もある。

○高校生の不読率は、数値目標を達成してはいないが、一貫した上昇傾向にあるわけではない。こうした状況を踏まえ、現行基本計画の基本的な方針を維持し、乳幼児期から中学生までの読書習慣の形成を促すとともに、大人への過渡期にある高校生が読書の必要性を真に感じ、主体的に読書に興味・関心を持てるような取組、例えば、探究的な学習活動等に当たって、学校図書館や図書館の利活用を促進する取組を充実させていくこと等が考えられる。

(以下、略)

第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要 (令和5年3月)

— 目次 —

はじめに

第1章 近年における子どもの読書活動に関する状況等

I 子どもの読書活動に関する取組の現状

II 子どもの読書活動を取り巻く情勢の変化

1 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律の制定

2 教育におけるデジタル化の進展

3 第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」の策定

III 子どもの読書活動の現状

第2章 基本の方針

I 不読率の低減

II 多様な子どもたちの読書機会の確保

III デジタル社会に対応した読書環境の整備

IV 子どもの視点に立った読書活動の推進

第3章 子どもの読書活動の推進体制等

I 市町村の取組等

II 都道府県の取組等

III 国の取組等

第4章 子どもの読書活動の推進方策

I 共通事項

1 連携・協力

2 人材育成

3 普及啓発

4 発達段階に応じた取組 …… (後掲)

5 子どもの読書への関心を高める取組 …… (後掲)

II 家庭

1 家庭の役割・取組

2 家庭の取組の促進等

III 地域

1 図書館の役割

2 図書館の取組

3 図書館における取組の促進等

IV 学校

- 1 幼稚園、保育所、認定こども園等
- 2 小学校、中学校、高等学校等

V 民間団体

- 1 民間団体の役割・取組
- 2 民間団体の取組の促進等

子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（一部抜粋）

第4章 子どもの読書活動の推進方策

I 共通事項

- 1 連携・協力
- 2 人材育成
- 3 普及啓発

4 発達段階に応じた取組

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動が行われることが重要である。読書に関する発達段階ごとの特徴として、例えば、以下①～④のような傾向があるとの指摘がある。※

※「子どもの読書活動推進に関する有識者会議論点まとめ」（平成30年3月）

①就学前（幼稚園、保育所、認定こども園等）の時期（おおむね6歳頃まで）

乳幼児期には、周りの大人から言葉を掛けてもらったり乳幼児なりの言葉を聞いてもらったりしながら言葉を次第に獲得するとともに、絵本や物語を読んでもらうこと等を通じて絵本や物語に興味を示すようになる。さらに様々な体験を通じてイメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の世界を楽しむようになる。

②小学生の時期（おおむね6歳から12歳まで）

・低学年では、本の読み聞かせを聞くだけでなく、一人で本を読もうとするようになり、語彙の量が増え、文字で表された場面や情景をイメージするようになる。

・中学年になると、最後まで本を読み通すことができる子どもとそうでない子どもの違いが現れ始める。読み通すことができる子どもは、自分の考え方と比較して読むことができるようになるとともに、読む速度が上がり、多くの本を読むようになる。

・高学年では、本の選択ができ始め、その良さを味わうことができるようになり、好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める一方で、この段階で発達がとどまったり、読書の幅が広がらなくなったりする者が出てくる場合がある。

③中学生の時期（おおむね12歳から15歳まで）

多読の傾向は減少し、共感したり感動したりできる本を選んで読むようになる。自己の将来について考え始めるようになり、読書を将来に役立てようとするようになる。

④高校生の時期（おおむね15歳から18歳まで）

読書の目的、資料の種類に応じて、適切に読むことができる水準に達し、知的興味に応じ、一層幅広く、多様な読書ができるようになる。

他方、子どもの発達是多様であり、個々の子どもの状況を十分に勘案した上で、乳幼児期から切れ目ない個別最適な読書活動の推進を目指す必要がある。

（以下、略）

5 子どもの読書への関心を高める取組

子どもの読書への関心を高めるために、多様な取組が行われている。

読書への関心を高める取組としては、乳幼児期から実施される「読み聞かせ」や「お話（ストーリーテリング）」、協働的な活動として、子ども同士での本等の紹介や話し合いを行う「読書会」、「書評合戦（ビブリオバトル）」、「ペア読書」、「味見読書」、「まわし読み新聞」、ゲーム感覚で実施される「アニメーション」「本探しゲーム」等の取組が挙げられる。

また、子どもの視点に立った取組を実現する観点から、子どもが主体的に読書活動に取り組む図書委員、子ども司書等の活動を促すことも重要である。

読んだ本の書名等を記録できるよう、冊子を手渡したり、「読書通帳機」に印字するサービスを提供したりする取組がある。読書の記録によって、自分の読書傾向を把握したり、読んだ内容を再確認したりすることができ、読書活動への意欲が高められることが期待される。

より発展的な取組としては、映画等の映像作品と原作を比較しながら読んだり、自分が書き手となったり、「読書新聞」、「読書ポスター」や本の帯を作成したりする取組が挙げられる。こうした取組によって、より多様な子どもの関心を集めることも期待される。

さらに、既存の取組に、多様な子どもたちが参加できるように工夫することや、ICTを効果的に活用することも重要である。例えば、読み聞かせ等の取組に、手話を添えたり、手遊びや歌を交えたり、様々な言語を併用したりする。こうした活動を地域の図書館や学校で行う場合は、ボランティア人材の協力等も必要である。また、読書記録のためのアプリ等に協働的な活動を可能とする仕組みを付加し、読書活動に対する関心を高めたり、オンラインの読書会を開催し、外出の難しい保護者や子どもが参加しやすくなるよう工夫したりしている。

（中略）

【具体的な取組等について】**・読み聞かせ**

大人が子どもに絵本等を読んで聞かせること。乳幼児から行われ、子どもは読み聞かせを通じて、言葉を獲得するだけでなく、本への関心を高めることができる。家庭、学校、保育所、認定こども園、図書館等広く行われており、子どもたちが同世代や異年齢の子どもたちへ行う場合もある。

・お話（ストーリーテリング）

語り手が昔話や創作された物語を全て覚えて語り聞かせること。絵本の読み聞かせは絵が想像の助けとなるが、お話は耳からの言葉だけで想像を膨らませる。直接物語を聞くことで、語り手と聞き手が一体になって楽しむことができる。

・ブックトーク

本への興味が湧くような工夫を凝らしながら、ジャンルの異なる複数の本をテーマに沿って紹介する取組。様々なジャンルの本に触れることができる。

・読書会

数人で集まり、本の感想を話し合う取組。その場で同じ本を読む、事前に読んでくる、一冊の本を順番に読む等、様々な方法がある。この取組により、本の新たな魅力に気づき、より深い読書につなげることができる。

・書評合戦（ビブリオバトル）

発表者が読んで面白いと思った本を一人5分程度で紹介し、その発表に関する意見交換を2～3分程度行う。全ての発表が終了した後に、どの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で選ぶ取組。ゲーム感覚で楽しみながら本に関心を持つことができる。

・ピッチトーク

テーマを決めて、各自が読んだ本を、短く発表する取組。ビブリオバトルの形式を取っても良い。

・ペア読書

二人で読書を行うものであり、家族や他の学年、クラス等様々な単位で一冊の本を読み、感想や意見を交わす取組。読む力に差がある場合も相手を意識し、本を共有することにつなげることができる。感想を手紙等の形で相手に伝える方法がとられる場合もある。

・味見読書

グループになり、3～5分間と決められた時間で順番に5～10冊程度の本を全て試し読みした後で、一番読みたくなった本を紹介し合う取組。

・ブッククラブ

同じ本をみんなで少しずつ、数週間かけて読み、お互いに交流していく取組。

・リテラチャー・サークル

読みたい本ごとに3～5人のグループになり、何回かに分けて読み、話し合う取組。「思い出し屋」、「イラスト屋」、「質問屋」、「だんらく屋」、「ことば屋」等、役割を分担して読む方法もある。

・アニメーション

読書のアニメーションとは、子どもたちの参加により行われる読書指導の一つ。読書の楽しさを伝え自主的に読む力を引き出すために行われる。ゲームや著者訪問等、様々な形で行われる。

・本探しゲーム

お題を出して、そのテーマにあった本を探していく取組。ゲーム感覚で楽しみながら、思い掛けない本と出会うことができる。

・図書委員、読書リーダー等の読書推進活動

子どもが図書館や読書活動について学び、読書のきっかけ作りになるような子ども向けの企画を実施する取組。読書リーダーは「子ども司書」、「読書コンシェルジュ」、「読書ソムリエ」等の名称でも呼ばれる。

・子ども同士の意見交換を通じて、一冊の本を「〇〇賞」として選ぶ取組

参加者が複数の同じ本を読み、評価の基準も含めて議論を行った上で、一冊のお薦め本を決める取組。複数の本を読み込み、共通の本について自身の考えで話し合うことで、自分と異なる視点を知り、自身の幅を広げることにつながる。

・読書新聞や読書ポスター、本の帯や POP の作成

読後の感想や本の紹介等を、新聞形式やポスター形式、カード形式の POP や本の帯にまとめる取組。読書活動を表現活動へと発展させるものでもある。作成したものを展示したり、コンテストを行ったりする例もある。

・自分も書き手となる

自作の小説を書き、お互いに読み合い、工夫したところや、作品に対する想い等を伝えたり、友達の作品へ感想（ファンレター）を書いたりする等、互いに交流する取組。自分が書き手になることで、読書への機会や、プロの作品へのリスペクトへつなげていく。電子化すると、一度に多くの子どもが読むことが可能になる。

・映画等と原作の比較

原作本を読みながら映画（ドラマ）を鑑賞する等、映像作品と比較しながら本を読む取組。どちらが先でも、章ごとに区切ってもよい。

・まわし読み新聞

みんなで新聞を持ち寄り、気になる記事や、面白い記事を一人1件ずつ切り抜き、なぜその記事を選んだかを発表する。その後、みんなで今日のトップ記事を決め、上から順番に記事を貼っていき、最後に編集後記を付けて完成。新聞の記事に親しみ、じっくり読むことができる。

・読書の記録

読んだ本の書名等を記録できるよう、冊子等を手渡したり、「読書通帳機」で記録を印字できるようにしたりする取組。読書の記録によって、自分の読書傾向を把握したり、読んだ内容を改めて思い出したりすることができる。読書記録のためのアプリ等は、協働的な活動を可能とする仕組みを付加すること等で、多様な子どもの関心を集められる可能性もある。なお、読書の記録については、プライバシーの保護に、十分な配慮が必要である。

第3次計画期間における取組・成果・課題一覧

I 家庭・地域での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(1) 家庭における読書活動の推進

取組	成果	課題
<p>○「親子おはなし会」の充実 (所沢図書館・保育園)</p>	<p>○市立図書館と保育幼稚園課・保育園が連携して「親子おはなし会」を開催した。(所沢図書館)</p> <p>【開催実績】</p> <p>令和元年度 8館7園 100回(のべ1,413人)</p> <p>令和2年度 1館0園 3回(のべ28人)</p> <p>令和3年度 6館3園 30回(のべ254人)</p> <p>令和4年度 8館6園 106回(のべ1,063人)</p> <p>保育士のほかにも、ボランティア、児童館職員などに協力いただいた。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施回数が減少したが、できる限り中止にせず、実施し、実施回数はコロナ前同様に戻すことができた。</p> <p>○こども支援センター(子育て支援)への出張おはなし会を毎月1回開催した。(所沢図書館)</p> <p>【開催実績】</p> <p>令和元年度 11回</p> <p>令和2年度 3回</p> <p>令和3年度 11回</p> <p>令和4年度 12回</p>	<p>○実施回数は増加しているものの、参加者が減少しているため、さらなる家庭での読書活動促進に向けた事業を検討する必要がある。</p>

取組	成果	課題
<p>○乳幼児健康診査や子育て講座等における啓発(保健センター・公民館・保育園・幼稚園・児童館)</p>	<p>○令和元年度まで健康診査待合で絵本の設置・紹介をした。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響のため待合において絵本の設置を行っていない。(保健センター)</p> <p>○3歳児健康診査や幼児グループ等の事業でエプロンシアター・紙芝居を実施した。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響で、3歳児健康診査時におけるエプロンシアターが中止。幼児グループでは令和2年度中止。(保健センター)</p> <p>○子育て学級・子育てサロン等の事業で、読み聞かせについての講座を実施した。(公民館)</p> <p>○地域の方を招いたあそぼう会・育児教室等で、読み聞かせや絵本の紹介を実施した。(保育園)</p> <p>○令和元年度、3年度、4年度に、所沢図書館の司書による保護者向けの読み聞かせ講習会を実施した。(市立幼稚園)</p> <p>○乳幼児向け行事等で、読み聞かせを実施した。(児童館)</p>	<p>○育児教室などの状況によって、必ずしも絵本を読み聞かせられないこともある。</p> <p>○週末に絵本を読んでもらっていない家庭もあるので、絵本がどんなに心をはぐくんでくれるかということを保護者に伝えていく必要がある。</p> <p>○職員の技術を向上し、おはなし会や読み聞かせの充実・周知を図る必要がある。</p> <p>○新刊図書購入予算を確保し、図書貸出の周知や推奨する本の充実を図る必要がある。</p>
<p>○子どもの読書に関する相談サービス (所沢図書館)</p>	<p>○全館で季節の本の展示や特集展示を実施した。また、読書に関する相談やレファレンス等に常時対応した。(所沢図書館)</p>	<p>○職員のスキルアップを図り、さらに相談業務を充実させる必要がある。</p>

資料編

取組	成果	課題
○「家読(うちどく)」の推奨(学校教育課・小中学校)	○毎月23日を「うちどくの日」として学校への啓発を行い、読書活動のさらなる充実を図った。(学校教育課・小中学校)	○「うちどくの日」を有効的に活用し、学校や家庭と連携を図りながら、「うちどく」に主体的に取り組む子どもを育成する必要がある。

I 家庭・地域での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(2) 地域における読書機会の提供・充実

取組	成果	課題
○児童館における読書機会の提供・充実 (児童館)	○図書室を設置し、図書の自由閲覧や貸出を実施した。(児童館) ○おはなし会、読み聞かせ、紙芝居、おはなしマイム、パネルシアター、科学教室等の行事を実施した。(児童館)	○図書の修理や補充、推奨する本選びと周知、読み聞かせの環境整備と周知、一般来館者への周知、読書のきっかけ作り、貸出期限の超過や未返却図書の防止が必要。
○公民館における読書機会の提供・充実 (公民館)	○地域文庫等との連携により、おはなし会を実施した。(公民館) ○地域文庫等による貸出を実施した。(公民館)	○乳幼児とその保護者に特化した講座ばかりになってしまっているため、今後は幅広い層に読書機会を提供できるような事業の開設が必要である。

取組	成果	課題												
<p>○放課後における読書機会の提供・充実 (学校教育課・小学校・児童館・所沢図書館)</p>	<p>○図書館からのおはなし会通信や公民館からの文庫だよりを掲示したことで、それらを見た児童が放課後、図書館や公民館に足を運ぶようになった。(小学校)</p> <p>○小学生向けおはなし会、読み聞かせ、紙芝居等の行事を実施した。(児童館)</p> <p>○市立図書館の団体貸出を活用し、図書の貸出や読書時間の設定をした。(児童館)</p> <p>○児童館・児童クラブ等への団体貸出を実施した。(所沢図書館)</p> <p>【登録・貸出実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>35団体</td> <td>6,128冊</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>25団体</td> <td>2,826冊</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>29団体</td> <td>3,187冊</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>27団体</td> <td>4,688冊</td> </tr> </table> <p>○令和元年度、新所沢分館職員による北小学校ほかかごところへの出張おはなし会を5回実施した。(所沢図書館)</p>	令和元年度	35団体	6,128冊	令和2年度	25団体	2,826冊	令和3年度	29団体	3,187冊	令和4年度	27団体	4,688冊	<p>○おはなし会通信や文庫だよりを目にしている児童には、図書館や公民館での取組が伝わりきらなかった。</p> <p>○蔵書の充実、一般来館者に向けた図書活動の充実、本を手取るきっかけ作り、貸出期限超過や未返却図書の防止が必要である。</p> <p>○放課後における読書機会の提供を充実させるため、さらなる利用促進の方法を検討する必要がある。</p>
令和元年度	35団体	6,128冊												
令和2年度	25団体	2,826冊												
令和3年度	29団体	3,187冊												
令和4年度	27団体	4,688冊												

I 家庭・地域での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(3) 身近に本のある環境づくり

取組	成果	課題
<p>○子どもの本のコーナーの充実(保育園・幼稚園・児童館・こども支援課)</p>	<p>○絵本コーナーを設置して、自由に貸出できるようにしている。(保育園)</p> <p>○絵本の購入や、リサイクル図書の有効活用により、蔵書を増やした。(市立幼稚園)</p> <p>○壁面装飾やおすすめの本のディスプレイにより魅力的な図書室作りに努めた。(市立幼稚園)</p> <p>○各クラスの本の充実のために蔵書の管理や新刊図書の購入、リサイクル図書の活用を行った。(私立幼稚園)</p> <p>○本棚の整理整頓に努めた。(児童館)</p> <p>○子どもたちによるおすすめ本の紹介を行った。(児童館)</p> <p>○市立図書館の団体貸出や寄贈図書を活用した。(児童館)</p> <p>○市立図書館のリサイクル本や課内寄贈により蔵書を増やし、蔵書数を確保した。(こども支援課)</p> <p>【蔵書実績】 令和元年度 154冊(図書館リサイクル本・寄贈5冊増) 令和2年度 106冊(図書館リサイクル本・青少年課より寄贈された本を含む) 令和3年度 待合スペースの児童書は新型コロナウイルス感染症対策のため、撤去した。</p> <p>○読書推進ポスターの掲示、リーフレットの設置を行った。(こども支援課)</p>	<p>○絵本を借りる家庭が偏っている。</p> <p>○子どもが「読んでみたい」と思えるよう、絵本の配置を工夫する必要がある。</p> <p>○本の充実がなかなか進んでいない。</p> <p>○予算を確保し、新刊図書を充実する必要がある。</p> <p>○おすすめ本等、来館者が興味を持つコーナー作りにより、図書室の環境整備をする必要がある。</p> <p>○市立図書館のリサイクル本や課内寄贈本を活用し、今後も蔵書を増やす必要がある。</p>

I 家庭・地域での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(3) 身近に本のある環境づくり

取組	成果	課題
<p>○地域団体への支援（所沢図書館・公民館）</p> <p>○「ところっこ親子ふれあい絵本事業」の実施（こども支援課・健康づくり支援課・所沢図書館）</p>	<p>○公民館や地域団体等への団体貸出を実施した。（所沢図書館）</p> <p>○地域文庫等に、おはなし会や貸出等の活動場所を提供した。（公民館）</p> <p>○1歳6か月児健康診査会場で絵本の読み聞かせを行い、絵本の引換チケットを配布した。配布したチケットは、後日、図書館や地域の子育て支援施設で対象の絵本2冊から1冊選んで交換ができる。</p> <p>※令和2年度は、4か月児健康診査が対象だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で4か月児健康診査が集団健診ではなく、医療機関での個別健診へ移行したため、令和3年度から対象を1歳6か月児健康診査へ変更。このため、対象の絵本も変更。</p> <p>【読み聞かせ実績】</p> <p>令和2年度 中止（新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため）</p> <p>令和3年度 799名 （通常時はボランティアが行い、まん延防止等重点措置期間は職員だけで対応）</p> <p>令和4年度 1,149名（ボランティアによる読み聞かせが実施できた）</p>	<p>○地域団体等への団体貸出について、さらなる利用促進の方法を検討する必要がある。</p> <p>○絵本の交換率を上げることが課題である。</p>

	<p>【絵本交換数】 令和2年度 823冊（4か月児健康診査対象の絵本） 令和3年度 582冊（4か月児対象 227冊+1歳6か月児対象 355冊） 令和4年度 765冊（4か月児対象 31冊+1歳6か月児対象 734冊）</p> <p>【チケット配布数】 令和2年度 2,470枚（4か月児健康診査対象） 令和3年度 1,666枚（1歳6か月児健康診査対象） 令和4年度 1,977枚（1歳6か月児健康診査対象）</p>	
--	---	--

I 家庭・地域での推進

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(1) 生涯学習施設・保健施設等との連携

取組	成果	課題								
<p>○家庭教育学級・子育て講座・出前講座等への協力 (所沢図書館・社会教育課・公民館・生涯学習推進センター)</p>	<p>○令和元年度、家庭教育学級代表者会議に職員を派遣して、図書館事業についてPRを行った。(所沢図書館)</p> <p>○公民館の子育て講座に講師として職員を派遣した。(所沢図書館)</p> <p>【派遣実績】</p> <table data-bbox="464 824 735 1010"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>10回</td> </tr> </table> <p>○リーフレットの配布・活用 乳幼児健康診査等で配布するためのリーフレットを保健センターに提供した。(所沢図書館)</p>	令和元年度	15回	令和2年度	2回	令和3年度	10回	令和4年度	10回	<p>○家庭教育学級・子育て講座・出前講座等に職員を派遣するサービスの利用拡大を図るため、今後さらにPRしていく必要がある。</p>
令和元年度	15回									
令和2年度	2回									
令和3年度	10回									
令和4年度	10回									

I 家庭・地域での推進

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(1) 生涯学習施設・保健施設等との連携

取組	成果	課題
<p>○リーフレットの配布・活用 (所沢図書館・保健センター・こども支援課)</p>	<p>○乳児健康診査等で配布するためのリーフレットを保健センターに提供した。(所沢図書館)</p> <p>○市内医療機関の待合室に置くためのリーフレットを配布した。(所沢図書館)</p> <p>○こども支援センター(子育て支援)と連携し、リーフレットを配置した。(所沢図書館)</p> <p>○4か月児健康診査で「図書館利用案内」、母親学級で「赤ちゃんにえほんを」を配布し、保護者への周知を行った。(保健センター)</p> <p>○母親学級で絵本の読み聞かせを実施した。(保健センター)</p> <p>○乳児家庭全戸訪問の際に「図書館利用案内」を配布した。(保健センター)</p>	<p>○配布場所・機会の拡大について検討する必要がある。</p>

I 家庭・地域での推進

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(2) 地域団体・ボランティア等との連携

取組	成果	課題
<p>○地域団体・ボランティアのネットワーク構築 (所沢図書館・公民館・小中学校・社会教育課)</p>	<p>○所沢市文庫・親子読書会連絡会総会・定例会(6回)を開催し、地域文庫やボランティア団体間の交流を図った。(所沢図書館)</p> <p>○地域ボランティア、保育園職員、公民館職員の連携により、おはなし会、子育て学級を開催した。(公民館)</p> <p>○読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施した。(小学校)</p> <p>○図書整備ボランティアによる図書室の環境整備を行った。(小学校)</p> <p>○ボランティアとの意見交換の場を設けた。(小学校)</p> <p>○公民館においてさまざまな地域団体・ボランティアの協力により「おはなしのひろば」を開催した。(社会教育課)</p> <p>【開催場所】 令和元年度:新所沢まちづくりセンター 令和2年度:新型コロナウイルスの影響により開催中止 令和3年度:三ヶ島まちづくりセンター 令和4年度:柳瀬まちづくりセンター</p>	<p>○関係機関と協力して、地域団体・ボランティア等のネットワークを充実させる必要がある。</p> <p>○ボランティアとの打ち合わせ時間の確保、ボランティアの人数確保が難しかった。</p> <p>○「おはなしのひろば」参加者の低年齢化が進んでいる。参加者の幅を広げるため、小学校中学年以上に向けたアプローチを考える必要がある。</p>

Ⅰ 家庭・地域での推進

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発として

(Ⅰ) 読書活動の啓発・広報

取組	成果	課題
○子どもの読書活動に関する広報の充実（公民館・児童館・幼稚園・所沢図書館）	○図書館が発行したリーフレットを配布・掲示した。（市立幼稚園・公民館・児童館）	
○講演会・講座の開催（公民館）	○子育て講座・講演会を開催した。（公民館）	

2 保育園・幼稚園での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(1) 保育園・幼稚園における読書機会の提供・充実

取組	成果	課題
○ 保育園・幼稚園における読書の習慣化への取組（保育園・幼稚園）	○ 団体貸出を利用し、絵本をさらに充実させたり、初めての本・大型絵本と出会ったりすることができた。（保育園） ○ 日々の活動の中で子どもたちと一緒に図書館へ出かけ、新しい絵本との出会いを楽しんだ。（保育園） ○ 保育の中で、保育者による読み聞かせを毎日、実施した。（市立幼稚園） ○ 毎週金曜日、2冊。夏休み前に5冊。絵本を自分で選び貸出を行う。（市立幼稚園） ○ クラスの絵本棚に季節の絵本、興味あるものの図鑑などを置き、子どもたちがタイミング良く見られるようにした。（市立幼稚園）	○ 新型コロナウイルス感染症の影響のため、団体貸出を中止する園もあった。また、幼児クラスの活動として図書館に行くことができなかった。感染症対策が緩和される中、何ができるか。 ○ 子どもたちの興味に合わせた本選び（行事・自然・動植物・ルール等）に努める。 ○ 読んでみたいと思える絵本の配置。環境作り。

(2) 身近に本のある環境づくり

取組	成果	課題
○ 子どもの本のコーナーの充実（保育園・幼稚園）	○ 絵本コーナーを設置し、季節で絵本を入れ替えながらどのクラスの子どもも楽しみな場所として使用した。（保育園） ○ 絵本コーナーで、1日1冊その日ピックアップした絵本を展示した。（保育園） ○ 乳児でも手に取りやすいような絵本の並べ方・場所の工夫をした。（保育園） ○ 傷んだ本は子どもの前で話しかけながら直し、本の扱い方や大切さを伝えた。（保育園）	○ 補強や修理を丁寧に行いながら、古いものは順次取り換える。

	<p>○絵本貸出に向けての取組・図書室の整備を行っている。本の一括購入の継続。お話会実現への準備を進めている。(私立幼稚園)</p> <p>○親しみのある壁面装飾や子ども達が興味のある絵本のポスターの掲示をしたり、本棚にお勧め絵本をディスプレイしたりして、魅力的な図書館作りに努めた。(市立幼稚園)</p> <p>○子どもたちが興味のある絵本や季節や動植物の絵本、定期購読絵本を購入。月 4 冊程度。(市立幼稚園)</p>	<p>○家庭と連携をもって図書に関する興味を持ってもらえるように継続的に取り組む。</p> <p>○絵本が古くなったり傷んだりしているので、定期的な絵本のメンテナンスが必要。</p> <p>○子どもの目線にも立ち、興味ある事、知りたい事などに保育者が敏感になり、充実した絵本購入に生かせるようにする。</p>
--	---	--

2 保育園・幼稚園での推進

Ⅱ 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(1) 子どもの読書に関わる人材の育成

取組	成果	課題
○保育士等の資質向上（保育園・幼稚園・児童館・保健センター）	<p>○各園・各クラスで子どもの発達や季節に合った本を話し合って選んだ。（保育園）</p> <p>○図書委員会を作り、家庭において図書だよりの配布、絵本選定や修理、管理などを率先して行った。（保育園）</p> <p>○子どもの読書活動推進連絡会に引き続き参加し、得た意見を取り入れていく。（私立幼稚園・児童館）</p> <p>○「はじめてのおもちゃ・絵本コーナー」ボランティア研修を開催した。（保健センター）</p>	○新型コロナウイルス感染症の影響のため、園内で絵本への理解を深める時間がとりづらかった。

2 保育園・幼稚園での推進

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発として

(1) 読書活動の啓発・広報

取組	成果	課題
<p>○子どもの読書活動に関する広報の充実（保育園・幼稚園）</p>	<p>○遊ぼう会、公園遊ぼう会、育児教室で親子における読み聞かせ、絵本紹介、絵本の良さや大切さを伝えた。（保育園）</p> <p>○保育者体験に参加した保護者に読み聞かせを体験してもらい、絵本に触れる機会を設けた。（保育園）</p> <p>○育児教室の御案内時に、絵本紹介のおたよりを同封して郵送した。（保育園）</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響の為、園内のみならず地域向けの活動にも制限があった。</p>

3 学校での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(1) 学校における読書機会の提供・充実

取組	成果	課題
<p>○小中学校における読書の習慣化への取組(小中学校)</p>	<p>○読書指導の指導計画の改善を図り、朝読書、読みきかせ、読書目標の設定、ブックトーク、ビブリオバトルなど様々な本に触れる機会を設けることや、図書委員等の子どもたちが主体的に活動する機会などを通して、読書活動のきっかけづくり、習慣化に取り組んだ。(小学校)</p> <p>令和元年度～令和4年度における朝読書・ボランティアの読み聞かせについては週1、2回実施した。 ※読み聞かせについては、コロナ禍により令和2年度から中止になったところが多いが、学校司書や委員会による読み聞かせ、アニメーション、ビデオ放送による読み聞かせなどを実施したところも多い。</p> <p>○各教科において、学校図書館の機能を計画的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を図るとともに、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させた。(小学校)</p> <p>○朝読書により読書習慣が定着し、落ち着いた雰囲気づくりができてきている。(中学校)</p>	<p>○業間休み等は体力向上の観点から外へ出て体を動かすのが決まりとなっており、図書の貸出冊数が伸びない。特に高学年の本の貸出数が少ない。</p> <p>○コロナ禍において日課が変更され、朝読書の時間を取れない学校があった。</p> <p>○各教科において活用できる図書を学校司書や教員間で周知・連携させていく必要がある。</p> <p>○巡回図書や団体貸し出しの年間計画を作成して教員に周知し、市立図書館との連携を密にしてい く必要がある。</p>

<p>○高等学校における読書の習慣化への取組(高等学校)</p>	<p>○読み聞かせ等を実施し、本に触れる機会を設けた。(中学校)</p> <p>○学校図書館や学級文庫の充実を図った。(小中学校)</p> <p>○学力向上推進事業「所沢市学び創造アクティブPLUS」において家読の推進を位置付けて取り組んだ。 主な取組として、市内の全児童生徒を対象とし、11月から12月のうち5日間においてウィークデイチャレンジを行った。チャレンジシートの1項目を「うちどく」とし、読書の習慣化のきっかけづくりとした。(学校教育課)</p> <p>○ビブリオバトル、こわいおはなし会、朗読会等のイベントの開催や、図書委員による文化祭でのおすすめ本の紹介やPOPの作成、読書案内や便り等の広報物の発行により、読書活動のきっかけづくりや習慣化への取組を行った。(高等学校)</p> <p>○図書委員が外部のコンクールへ参加した。 令和5年度 聖学院大学ビブリオバトル 優勝 令和5年度 彩の国高校生ビブリオバトル 準優勝 (高等学校)</p> <p>○図書委員の交流会に参加し、情報交換を行った。 (高等学校)</p>	<p>○学校司書が専属で勤務できることが望ましい。</p> <p>○ウィークデイチャレンジ期間以外にも日常的に読書に親しむ子どもを育成する必要がある。</p> <p>○教科学習や部活動に時間を取られ余裕がない生徒にどのように図書館や本に興味を持ってもらうかが課題である。</p>
----------------------------------	--	---

3 学校での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(2) 身近に本のある環境づくり

取組	成果	課題
<p>○学級文庫・読書スペース・図書コーナー等の充実（小中学校）</p>	<p>○新刊図書の購入や、市立図書館のリサイクル本・地域の方からの寄贈本の活用により、蔵書を充実させることができた。（小学校）</p> <p>○新着図書、季節や世のなかの話題等の特集コーナー、名作コーナー等の設置やおすすめ本の掲示を行った。（中学校）</p> <p>○図書委員による掲示物の装飾展示や、書架の飾りつけ、おすすめ本のポップ作成・掲示を行った。（中学校）</p> <p>○学級内に朝読書用図書や学級文庫を設置した。また、学年で工夫してロビーに図書を置く等の工夫をした。（小中学校）</p>	<p>○図書の探し方がわからない児童が多くみられるため、分類法の指導が必要。</p> <p>○中学生の興味を惹く排架の工夫や、朝読書用の図書の入れ替えが必要。また、古い本が多いので、できるだけきれいな本に入れ替えることが必要。</p>

3 学校での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(3) 学校図書館の機能充実

取組	成果	課題
<p>○子どもの本の選定・収集の充実（小中学校・教育総務課）</p>	<p>○本の選定会を実施し、各学年の希望の本を購入できた。（小学校）</p> <p>○各教科の内容にあった調べ学習用の本を購入・活用できた。（小学校）</p> <p>○家庭からの寄贈本や市立図書館のリサイクル本を活用し、蔵書を充実した。（小学校）</p> <p>○生徒・教員への希望図書アンケートを実施するなど、リクエストを受付して本を購入できた。（中学校）</p> <p>○学校司書と司書教諭等の話し合いにより本の選定を行った。（中学校）</p> <p>○国語教科書掲載図書を充実させた。（中学校）</p> <p>○蔵書の配分を考えた選書・廃棄を進め、古い図書の整理、買い替えを行った。（中学校）</p> <p>○学校の必要に応じ、予算の範囲内で学校図書の購入を行った。（教育総務課）</p>	<p>○本の劣化が激しく、修繕が必要。</p> <p>○情報収集を欠かさず、話題の本や生徒の関心の高い本を購入する必要がある。</p> <p>○古い本を整理し、配架バランスに気を配る必要がある。</p> <p>○今後さらに職員の希望を入れて図書選定をする必要がある。</p>

3 学校での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(3) 学校図書館の機能充実

取組	成果	課題
○学校図書を活用した指導の充実(学校教育課)	○各校における図書機能が充実するよう、市内小中学校全校に司書教諭の免許を持つ教員を配置し、その教諭に教育委員会から司書教諭を発令した。(学校教育課) 【発令実績】 令和元年度 52人(市内全校発令) 令和2年度 52人(市内全校発令) 令和3年度 51人(市内全校発令) 令和4年度 51人(市内全校発令) 令和5年度 50人(市内全校発令)	
○学校図書館司書補助員および学校司書の配置(教育総務課・学校教育課)	○各校における図書機能が充実するよう、市内小中学校に学校司書を配置した。 【配置実績】 令和元年度 31人(小学校は2校兼務12名) 令和2年度 33人(市内全校発令・小学校は2校兼務3名) 令和3年度 33人(市内全校発令・小学校は2校兼務13名) 令和4年度 33人(市内全校発令・小学校は2校兼務13名) 令和5年度 33人(市内全校発令・小学校は2校兼務13名)	○専任の学校司書の配置を進める必要がある。
○蔵書管理体制の整備(教育総務課)	○学校図書館の標準冊数の達成に向け、配分予算を通し学校への支援を行った。その結果、特に中学校において、充足率の改善【95.0%(平成31年3月)→97.9%(令和5年3月)】が見られた。(教育総務課) ○学校図書館の蔵書管理システム導入の新規事業化に向け、平成30年度から令和2年度にかけて働きかけを行った。(教育総務課)	○配分予算のため、財政状況等により、消耗品費全体が縮減された場合、十分な予算額が確保できないおそれがある。

	<p>○学校の必要に応じてブックラベル等の書籍の装備や本棚等の図書備品の購入を行った。(教育総務課)</p> <p>○小中学校における学校図書館蔵書管理システムの整備のための予算要求を行った。(教育総務課)</p>	<p>○小中学校における学校図書館蔵書管理システムの整備を行うことが必要。(教育総務課)</p>
--	---	--

3 学校での推進

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(1) 子どもの読書に関わる人材の育成

取組	成果	課題
○司書教諭・学校図書館司書補助員等の資質向上(所沢図書館・学校教育課)	○学校図書館司書研修会に講師として職員を派遣した。(所沢図書館) ○学校司書研修会を実施した。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、年2回の開催となったが、令和4・5年度は4回実施した。(学校教育課) 【開催実績】 令和元年度 3回 令和2年度 2回 令和3年度 2回 令和4年度 4回 令和5年度 5回	○新型コロナウイルス感染症の影響でしばらく研修会ができなかったため、少しずつコロナ前に実施していた研修を再開していく必要がある。 ○学校現場のニーズにあった研修内容や研修方法にする必要がある。

3 学校での推進

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(2) 松井小学校図書館と地域の連携

取組	成果	課題
○松井小学校図書館と地域の連携(学校教育課・所沢図書館)	○市内の小中学校、幼稚園・保育園・こども園・児童館に対して、松井小学校図書館利用について活用を呼びかけ、利用希望者の利用申請書の受付を行った。(学校教育課) ○松井小学校図書館の機能充実として、おはなし会や工作会等、図書館利用を促進する行事を実施している。(所沢図書館)	○年度当初の早い時期に周知することで、利用がスムーズになる。

3 学校での推進

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及として

(3) 読書活動の啓発・広報

取組	成果	課題
<p>○子どもの読書活動に関する広報の充実 (小中学校)</p> <p>○高等学校での啓発活動</p>	<p>○市立図書館の広報紙等を図書室や各学級に掲示した。(小学校)</p> <p>○図書委員会で毎月図書館新聞を発行し、全生徒に配布した。また、生徒朝会で名作月間の本を紹介した。(中学校)</p> <p>○学校司書による図書案内を随時発行した。(中学校)</p> <p>○図書館のマスコットキャラクターの募集を全校生徒に行い、キャラクターを決定してホームページや広報物に使用した。(高等学校)</p> <p>○所沢図書館との交流事業として、図書委員おすすめの本のポップを所沢図書館分館に展示した。(高等学校)</p>	<p>○掲示をしても目にしていない児童も多かった。</p>

4 図書館での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(1) 図書館における読書機会の提供・充実

取組	成果	課題
○「おはなし会」の充実 (所沢図書館)	○定例おはなし会を実施した。(所沢図書館) 【開催実績】 令和元年度 281回(のべ2,892人) 令和2年度 102回(のべ 583人) 令和3年度 121回(のべ 779人) 令和4年度 282回(のべ1,785人)	○おはなし会の内容をさらに向上させ、参加者数の増加を目指す。
○「かがくあそび」・「工作教室」の充実(所沢図書館)	○本館でかがくあそび、工作会を開催した。(所沢図書館) 【開催実績】 令和元年度 定例9回(のべ161人) 特別行事3回(のべ90人) 令和2年度 定例6回(のべ96人) 特別行事2回(のべ44人) 令和3年度 定例6回(のべ76人) 特別行事2回(のべ34人) 令和4年度 定例11回(のべ148人) 特別行事4回(のべ99人)	○かがくあそび、工作会の内容をさらに向上させ、参加者数の増加を目指す。
○児童書おたのしみセットの貸出(所沢図書館)	○新型コロナウイルス感染予防のため、図書館が臨時休館していた期間に、館内に立ち入りが出来ず、書架を見ることが出来ない子どもたちのために、赤ちゃん絵本、絵本、やさしいものがたり、ものがたり、ティーンズ向け等の年齢毎のセットを作り、貸出を行った。(所沢図書館) 令和2年度 809セット (4月4日~9日、5月19日~31日)	

4 図書館での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(1) 図書館における読書機会の提供・充実

取組	成果	課題
○「子ども読書の日」の普及 (所沢図書館)	○全館で子ども読書の日関連行事を実施した。(所沢図書館)	○行事内容の充実を図り、「子ども読書の日」についてさらなる周知を行う必要がある。

4 図書館での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(2) 図書館の機能充実

取組	成果	課題
○子どもの本の選定・収集の充実（所沢図書館）	○選書会議を週1回行い、計画的に児童書の収集を行った。（所沢図書館） 【子ども1人あたり蔵書数実績】 令和元年度 6.0冊 令和2年度 6.2冊 令和3年度 6.3冊 令和4年度 6.5冊	○今後は古くなった本の除籍にも力を入れながら計画的に児童書の収集を進め、適切な蔵書を構築する必要がある。
○子ども向けサービスの充実（所沢図書館）	○各種子ども向け行事を開催した。（所沢図書館） 【参加実績】 令和元年度 13,371人 令和2年度 4,071人 令和3年度 6,876人 令和4年度 9,082人	○子ども向け行事の参加者数が減少しているため、さらなるサービス充実のための検討を行う必要がある。
○子ども向け広報の充実（所沢図書館）	○子ども向け広報紙「ほんのりのトベア」、月間行事カレンダーを毎月1回作成し、市立図書館全館のほか小学校・保育園、市立幼稚園、児童館に配布した。（所沢図書館） 【ほんのりのトベア作成部数】 令和元年度 毎月760部 令和2年度 毎月760部 令和3年度 毎月760部 令和4年度 毎月760部 【月間行事カレンダー作成部数】 令和元年度 ポスター毎月15部 本館用チラシ毎月60部 令和2年度 ポスター毎月15部 本館用チラシ毎月60部 令和3年度 ポスター毎月15部 本館用チラシ毎月60部 令和4年度 ポスター毎月15部 本館用チラシ毎月60部	○子ども向け広報のさらなる内容充実を図り、図書館の利用促進につなげる必要がある。

4 図書館での推進

I 子どもの読書環境の整備・充実として

(2) 図書館の機能充実

取組	成果	課題
○読書活動の困難な子どもへの支援（所沢図書館） 【障害のある子どもへの支援】	○点字図書・録音資料等、障害に応じた資料についての情報収集と提供に努めた。（所沢図書館）	○障害のある子どものため、障害に応じた資料をさらに充実させる必要がある。
【日本語を母語としない子どもへの支援】	○外国語で書かれた資料の収集拡大に努めた。（所沢図書館）	○日本語を母語としない子どものため、外国語で書かれた資料をさらに充実させる必要がある。
【入院中の子どもへの支援】	○防衛医科大学校病院院内学級「ひまわり学級」（並木小・中央中分教場）への出張おはなし会を実施した。コロナウイルス感染症感染防止のため、病院側が落ち着くまでは学級文庫の貸出のみとなっている。（所沢図書館） 【実施実績】 令和元年度 11回（うち3回は学級文庫の貸出のみ） 令和2年度 9回（学級文庫の貸出のみ） 令和3年度 12回（学級文庫の貸出のみ） 令和4年度 12回（学級文庫の貸出のみ）	

4 図書館での推進

Ⅱ 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(1) 図書館利用教育の推進

取組	成果	課題
<p>○図書館司書による学級訪問(ブックトーク)の充実(所沢図書館)</p>	<p>○市内小学校3年生全学級へのブックトークを実施した。(コロナウイルス感染症への対策期間を除く) (所沢図書館)</p> <p>○市内小学校他学年の学級の希望に応じてブックトークを実施した。(所沢図書館)</p> <p>【実施実績】</p> <p>令和元年度 23クラス 北野小学校1年生3クラス 柳瀬小学校1年生2クラス 中富小学校特別支援学級1クラス 富岡小学校特別支援学級1クラス(9回)</p> <p>令和2年度 14クラス 北野小学校1年生3クラス 所沢小学校2年生6クラス 上新井小学校2年生3クラス 富岡小学校特別支援学級1クラス(2回)</p> <p>令和3年度 8クラス 北野小学校1年生3クラス 北野小学校2年生3クラス 富岡小学校特別支援学級1クラス(2回)</p> <p>令和4年度 17クラス 北野小学校1年生3クラス 北野小学校2年生3クラス 中央小学校1年生2クラス 中央小学校2年生2クラス 富岡小学校特別支援学級1クラス(7回)</p>	<p>○小学校他学年や中学校へのブックトーク実施を拡大するために、学校にPRする必要がある。</p>
<p>○図書館見学の受け入れ(所沢図書館)</p>	<p>○小中学校・幼稚園・保育園・児童館等からの図書館見学を受け入れた。(所沢図書館)</p> <p>【受入実績】</p> <p>令和元年度 66団体 令和2年度 24団体 令和3年度 29団体 令和4年度 35団体</p>	<p>○図書館見学ができることを学校に周知する必要がある。</p>

<p>○図書館職場体験・ボランティア体験の受け入れ (所沢図書館)</p>	<p>○中学生等の職場体験、就業体験、職場訪問学習を受け入れた。(所沢図書館)</p> <p>【受入実績】</p> <p>令和元年度 職場体験 14校 職場訪問学習 1校</p> <p>令和4年度 職場体験 1校 職場訪問学習 2校</p> <p>○夏休みに学生ボランティア体験を受け入れた。 (所沢図書館)</p>	
---	--	--

4 図書館での推進

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(2) 学校図書館への支援

取組	成果	課題
<p>○高等学校に対する支援 (所沢図書館・高等学校)</p>	<p>○市内県立高等学校6校が所沢図書館に団体利用登録し、団体貸出を利用した。(所沢図書館)</p> <p>【貸出実績】</p> <p>令和元年度 641冊 令和2年度 547冊 令和3年度 303冊 令和4年度 354冊</p> <p>○市内県立高等学校司書と市立図書館の懇談会を開催した。(所沢図書館)</p> <p>○「高等学校向け利用案内」を配布した。(平成27年度から)(所沢図書館)</p>	<p>○ティーンズ向けサービスの向上のため、今後さらなる連携の可能性を模索する必要がある。</p>
<p>○特別支援学校に対する支援(所沢図書館・特別支援学校)</p>	<p>○特別支援学校からの要望に応じ、おはなし会を実施した。(所沢図書館)</p>	<p>○障害のある子どもへのサービス向上のため、今後さらなる連携の可能性を模索する必要がある。</p> <p>○所沢特別支援学校は小・中学部のみのため、児童生徒を中心とした図書活動(全校読書普及活動、蔵書管理等)ができていない。児童生徒が行える活動を今後検討していく必要がある。</p>

4 図書館での推進

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(2) 学校図書館への支援

取組	成果	課題
○学校団体貸出の利用促進 (所沢図書館)	○小中学校への学校団体貸出を実施した。(所沢図書館) 【利用実績】 令和元年度 18,397冊 令和2年度 10,854冊 令和3年度 15,434冊 令和4年度 12,492冊	○貸出数を伸ばすため、学校へPRする必要がある。 ○必要な資料について、学校からのアンケートや学級訪問時の聞き取り等により把握していく必要がある。
○市内小中学校連絡業務便の運行(所沢図書館・小中学校)	○学校団体貸出の利便性を図るため、市内全小中学校・市内県立高等学校6校、図書館間の連絡業務便を定期的に運行した。(所沢図書館) ○各学年・教科で、必要に応じて市内小中学校連絡業務便を活用した。(小中学校)	○長期的な視点にたつて資料活用する授業計画を立てられず、連絡業務便の利用に教科・学年の偏りがあった。
○図書館司書による情報提供(所沢図書館)	○小中学校向け利用案内「図書館利用案内 小中学校の先生方へ」を配布した。(所沢図書館) ○窓口・電話での相談業務を実施した。(所沢図書館)	○市立図書館と学校との連携を深めるため、さらに情報交換を密にしていく必要がある。

4 図書館での推進

Ⅱ 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(3) 推進体制の整備

取組	成果	課題
<p>○所沢市子どもの読書活動推進連絡会の開催（所沢図書館・学校教育課・経営企画課・財政課・公民館・こども支援課・青少年課・幼稚園・保育園・保健センター・教育総務課・社会教育課・生涯学習推進センター・小中学校・高等学校・特別支援学校）</p>	<p>○事務局として所沢市子どもの読書活動推進連絡会を開催し、関係各課の連携を深めた。（所沢図書館・学校教育課）</p> <p>【開催実績】</p> <p>令和元年度 3回 令和2年度 1回 令和3年度 2回 令和4年度 3回</p> <p>○所沢市子どもの読書活動推進連絡会委員を選出し、子どもの読書活動についての情報交換・連絡調整を行った。</p> <p>（経営企画課・財政課・公民館・こども支援課・青少年課・幼稚園・保育園・保健センター・教育総務課・社会教育課・生涯学習推進センター・小中学校・高等学校・特別支援学校）</p>	<p>○所沢市子どもの読書活動推進連絡会において関係機関との連携をより一層深め、協力して子どもの読書活動推進を図っていく必要がある。</p>

4 図書館での推進

II 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(3) 推進体制の整備

取組	成果	課題
<p>○乳幼児向けサービスに関する情報交換(所沢図書館・保育園・幼稚園・児童館・公民館・保健センター)</p>	<p>○所沢市こども支援センターと連携し、こども支援センター(子育て支援)での出張おはなし会を実施した。(所沢図書館)</p> <p>【参加実績】 令和元年 11回 令和2年 3回 令和3年 11回 令和4年 12回</p> <p>○各施設間で互いの施設の広報紙等を交換し、行事等の情報を共有した。(保育園)</p> <p>○所沢図書館と連携し、読み聞かせ会への参加や、絵本の団体貸出を活用した。(市立幼稚園)</p> <p>○市民フェスティバルに参加して、地域に幼稚園をアピールするとともに読書の楽しさを伝えた。(市立幼稚園)</p> <p>○埼玉県狭山丘陵生き物ふれあいの里センター、エコクラブ、市立図書館との共催により、「森の図書館」を2回開催した。(市立幼稚園)</p> <p>○図書館だよりを掲示する等、他機関との情報交換・共有を行った。(児童館)</p> <p>○保健センターが実施する「はじめてのおもちゃ・絵本コーナー」へ職員を派遣した。(児童館)</p> <p>○文庫の定例会を実施した。(児童館)</p> <p>○関係機関と連携して子育て学級、子どもの読書活動に関する講座等を開催した。(公民館)</p> <p>○「はじめてのおもちゃ・絵本コーナー」ボランティア研修会を開催した。(保健センター)</p>	<p>○他の施設の行事等を実際に目にする機会がない。</p> <p>○関係機関間の情報交換が不足している。</p> <p>○利用者のニーズ把握が十分でない。</p> <p>○今後、乳幼児向けサービスの専門家等を招いた講座を取り入れていきたい。</p>

4 図書館での推進

Ⅱ 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(3) 推進体制の整備

取組	成果	課題
<p>○ティーンズ向けサービスに関する情報交換（所沢図書館・中学校・高等学校・児童館）</p>	<p>○市立図書館と市内県立高等学校司書との懇談会を実施した。（所沢図書館）</p> <p>○市立図書館との情報交換を行った。（中学校）</p> <p>○市立図書館が発行するリーフレットを選書に活用し、学校図書館内に掲示した。（中学校）</p> <p>○市立図書館との連携を行った。（児童館）</p>	<p>○関係機関との新たな連携の可能性について模索する必要がある。</p> <p>○近隣中学校、高等学校との連携を強化したい。</p>
<p>○障害児向けサービスに関する情報交換（所沢図書館・小中学校・特別支援学校）</p>	<p>○市立図書館との連携により、特別支援学級での出張おはなし会および図書館見学を実施した。（小学校）</p>	<p>○小中学校特別支援学級、特別支援学校との連携をさらに密にしていく必要がある。</p> <p>○特別支援学級の授業でも利用できる学校図書館という視点が足りなかった。</p> <p>○小中学校の特別支援学級、市立図書館と定期的に情報交換を行い、相互理解を深め、連携・協力して障害のある子どもたちの読書活動を支援するための方法を検討していきたい。</p>

4 図書館での推進

Ⅱ 学校・地域等の連携による推進体制の整備として

(4) 子どもの読書に関わる人材の育成

取組	成果	課題
<p>○読み聞かせ・おはなしボランティアの養成・支援（所沢図書館）</p>	<p>○おはなし会ボランティア勉強会、ストーリーテリング勉強会を各年度実施した。（所沢図書館）</p> <p>【実施実績】</p> <p>おはなし会ボランティア勉強会</p> <p>令和元年度 10回 令和2年度 6回 令和3年度 5回 令和4年度 11回</p> <p>ストーリーテリング勉強会</p> <p>令和元年度 10回 令和2年度 6回 令和3年度 4回 令和4年度 11回</p> <p>○ボランティア関連講座を開催した。（所沢図書館）</p> <p>【開催実績】</p> <p>令和元年度 読み聞かせボランティア講座（中級） 令和2年度 中止 令和3年度 ストーリーテリング入門講座 令和4年度 読み聞かせボランティア講座（初級）</p>	
<p>○児童サービス担当司書の養成（所沢図書館）</p>	<p>○子どもの本研究所「子どもの本を知るセミナー」、「短期集中講座」、埼玉県図書館協会「児童サービス研修会」「参考調査研修会」等の外部研修会に職員を派遣した。（所沢図書館）</p>	<p>○今後も担当職員のスキルアップのため、各種研修会に参加する必要がある。</p>

4 図書館での推進

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及として

(1) 読書活動の啓発・広報

取組	成果	課題
○子どもの読書活動に関する広報の充実 (所沢図書館)	○子ども向け広報紙「ほんのりのトベア」、月間行事カレンダーを発行した。また、図書館広報紙「今月の図書館」に子ども向け行事のページを設けている。(所沢図書館) ○図書館ホームページ内に「こどものページ」を設けている。(所沢図書館)	
○講演会・講座等の開催 (所沢図書館)	○令和元年度に、児童文学講演会「藤田浩子さん講演会」を開催。参加人数50人。(所沢図書館) ○令和4年度に、講演会「子どもと絵本をたのしもう」を開催。参加人数21人。(所沢図書館) ○令和4年度に、「子ども折り紙教室講座」を開催。参加人数32人。(所沢図書館) ○令和5年度に所沢市みどり自然課、おたかの森トラストと共催で「みどりの森と本の森と」を開催し、自然とのふれあいと講演が行われた。参加人数32人。(所沢図書館) ○令和5年度に「ところざわ星空フェスティバル」において、星に関連した本の紹介やおはなし会、工作会を開催。参加人数762人。(所沢図書館)	

4 図書館での推進

Ⅲ 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発として

(2) 優良な図書の普及

取組	成果	課題
○年齢に応じたブックリストの作成・配布 (所沢図書館)	○小中学生向けブックリスト「ほんがいっぱいよんでみよう!」を年 1 回作成し、全児童生徒に配布した。 (所沢図書館) ○乳幼児向けブックリスト「赤ちゃんにえほんを」を作成し、配布した。こども支援センター(子育て支援)と連携し配置した。(所沢図書館)	

子どもの読書アンケート調査結果(令和元年度～令和5年度)

本調査は、所沢市における子どもの読書活動の実態を把握し、読書活動を推進するうえでの基礎資料とするため、平成20年度から毎年実施しているものです。

- 調査対象 本調査は、市内全小学校の2年生・5年生及びその保護者、また、市内全中学校の2年生を対象として実施しています(各校、対象学年のうち1クラスを抽出)。

<各年度調査対象者数>

	学年	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
小学校	2年	874	867	907	871	897
	5年	992	983	978	952	956
中学校	2年	491	474	484	470	509
保護者(小学校)		1,561	1,610	1,655	1,508	888

(単位:人)

- 調査時期 令和元年度:令和元年11月
令和2年度:令和2年11月
令和3年度:令和3年11月
令和4年度:令和4年11月
令和5年度:令和5年11月

●調査項目

《小中学生》

- 【Q1】あなたは、本を読むのが好きですか。
- 【Q2】あなたは、1週間のうちだいたい何日、本を読みますか。
- 【Q3】あなたは、1か月に本を何冊読みましたか。(読みかけの本や朝読書の本も1冊に数えます。マンガ・雑誌は数えません。)
- 【Q4】Q3で、「0冊」を選択した人は、教えてください。読まなかったのはなぜですか。[複数回答可]
- 【Q5】あなたは、読みたい本があるとき、どうやって手に入れますか。[複数回答可]
- 【Q6】あなたは、読みたい本があるとき、どうやって探しますか。[複数回答可]
- 【Q7】あなたは、学校図書館(学校の図書室)に行きますか。(授業などで図書室に行くこともふくみます。)

【Q8】Q7で「行かない」を選択した人は、教えてください。行かないのはなぜですか。[複数回答可]

【Q9】あなたは、知りたいことや、分からないことがあった時、どのようにして調べますか。[複数回答可]

【Q10】あなたは、市の図書館に行きますか。

【Q11】Q10で、市の図書館に「よく行く」「たまに行く」と回答した人だけ教えてください。小学校時代も含めて、市の図書館の“おはなし会”“映画会”“かがくあそび”などに行ったことがありますか。

【Q12】Q10で、市の図書館に「行かない」と回答した人だけ教えてください。なぜ行かないのですか。[複数回答可]

《保護者》

【Q1】あなたは、本を読むのが好きですか。

【Q2】あなたは、1か月に何冊ぐらい本を読みますか(マンガ・雑誌は数えません)。

【Q3】あなたは、子どもの頃、本を読むのが好きでしたか。

【Q4】お子さんに、絵本や物語の読み聞かせをしていますか(していましたか)。

【Q5】Q4で、「よくする(した)」「ときどきする(した)」を選択した方だけ、お答えください。月に何冊読み聞かせをします(しました)か。

【Q6】Q4で、「よくする(した)」「ときどきする(した)」を選択した方だけ、お答えください。いつ頃まで読み聞かせをします(しました)か。

【Q7】Q4で、「あまりしない(しなかった)」「しない(しなかった)」を選択した方だけ、お答えください。読み聞かせをしない(しなかった)のは、なぜですか。[複数回答可]

【Q8】市立図書館に、お子さんを連れていきますか。

【Q9】Q8で、市立図書館に「ほとんど行かない」を選択した方だけ、お答えください。あなたが連れて行かないのは、なぜですか。

【Q10】子どもの成長にとって読書が大切だと言われています。あなたは、家庭でどのようなことをされていますか。[複数回答可]

●アンケート調査結果(令和元年度～5年度)

小学校2年生

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
--	-----	-----	-----	-----	-----

【Q1】あなたは、本を読むのが好きですか。

好き	48.7%	52.3%	57.1%	53.4%	56.6%
まあまあ好き	40.0%	36.4%	34.0%	37.5%	35.0%
あまり好きではない	8.8%	8.8%	7.2%	7.1%	6.7%
きらい	2.4%	2.5%	1.7%	2.0%	1.7%

【Q2】あなたは、1週間のうち平均何日、本を読みますか。

0日	3.1%	3.3%	1.8%	5.2%	3.7%
1日	12.1%	10.5%	11.5%	13.9%	10.8%
2日	16.6%	12.3%	11.6%	14.4%	14.3%
3日	19.0%	16.4%	16.7%	17.5%	16.1%
4日	9.2%	13.7%	11.0%	11.5%	13.0%
5日	12.5%	14.7%	12.5%	11.0%	9.5%
6日	5.0%	5.8%	7.8%	6.2%	4.7%
毎日	22.5%	23.3%	27.1%	20.4%	28.0%

【Q3】あなたは、1か月(アンケート実施の直前月)に何冊本を読みましたか。

(読みかけの本も1冊に数えます。マンガ・雑誌は数えません。)

0冊	1.7%	2.3%	1.7%	2.2%	3.1%
1～2冊	13.2%	8.8%	6.6%	13.2%	7.6%
3～5冊	17.6%	19.4%	16.1%	20.6%	17.7%
6～9冊	25.0%	21.7%	20.0%	23.0%	20.1%
10冊以上	42.3%	47.9%	55.6%	40.6%	51.5%

【Q4】Q3で『0冊』を選択した人は、教えてください。読まなかったのはなぜですか。

(複数回答可)

本が好きでないから	13.3%	35.0%	33.3%	52.6%	46.4%
勉強が忙しいから	66.7%	30.0%	20.0%	42.1%	75.0%
テレビ・ビデオ・DVDを見るから	66.7%	25.0%	40.0%	21.1%	21.4%
ゲームをするから	53.3%	40.0%	53.3%	42.1%	71.4%
友達と遊ぶから	33.3%	30.0%	46.7%	21.1%	57.1%
読みたい本がないから	40.0%	50.0%	26.7%	36.8%	71.4%
面白い本がないから	40.0%	40.0%	26.7%	21.1%	39.3%
誰かに読んでもらえなかったから	13.3%	5.0%	13.3%	0.0%	3.6%
その他	40.0%	15.0%	13.3%	10.5%	25.0%

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q5】あなたは、読みたい本をどのようにして手に入れますか。(複数回答可)

本屋等で買う	51.0%	49.5%	51.5%	51.8%	51.1%
学校で借りる	64.1%	63.1%	62.8%	65.1%	69.1%
友達から借りる	11.4%	7.6%	10.7%	10.7%	10.7%
市の図書館・分館で借りる	31.6%	24.2%	27.3%	26.6%	28.3%
家にある本を読む	53.0%	51.3%	59.9%	50.9%	51.8%
公民館で借りる	7.1%	7.2%	5.2%	7.9%	10.3%
児童館で借りる	7.0%	6.2%	5.1%	5.4%	7.5%
インターネットで買う	-	-	-	-	-
その他	8.4%	6.3%	9.0%	7.9%	9.8%

【Q6】あなたは、読みたい本をどのようにして探しますか。(複数回答可)

先生に聞く	23.9%	37.1%	32.5%	33.1%	46.2%
市の図書館の人に聞く	20.7%	19.3%	18.4%	21.2%	17.8%
家の人に聞く	46.6%	47.3%	43.7%	46.0%	48.5%
友達に聞く	28.6%	30.2%	31.3%	34.7%	29.4%
インターネットで調べる	21.2%	19.1%	22.4%	22.0%	23.5%
本屋で探す	44.9%	42.4%	43.4%	41.3%	46.3%
その他	15.1%	9.2%	11.6%	12.2%	13.2%

【Q7】あなたは、学校の図書館(学校の図書室)に行きますか。(授業などで図書室に行くこともふくみます。)

よく行く	45.4%	47.5%	61.0%	40.4%	49.4%
たまに行く	47.7%	46.6%	36.0%	54.2%	45.6%
ほとんど行かない	5.6%	5.3%	2.5%	4.7%	3.7%
行かない	1.3%	0.6%	0.6%	0.9%	1.6%

【Q8】Q7で『行かない』を選択した人は、教えてください。行かないのはなぜですか。

(複数回答可)

本を読みたくない	18.2%	0.0%	0.0%	25.0%	35.7%
読みたい本がない	54.5%	20.0%	60.0%	87.5%	57.1%
他の遊びをしたい	72.7%	40.0%	20.0%	37.5%	64.3%
係や委員会の仕事がある	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	21.4%
その他	36.4%	60.0%	20.0%	37.5%	42.9%

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q9】あなたは、知りたいことや、分からないことがあった時、どのようにして調べますか。

(複数回答可)

インターネットで調べる	24.4%	27.5%	25.2%	31.9%	35.6%
学校の図書室で調べる	25.4%	28.6%	32.6%	31.7%	40.6%
市の図書館で調べる	15.2%	12.3%	14.1%	15.2%	20.7%
家の本で調べる	25.9%	27.2%	30.8%	31.7%	36.7%
先生に聞く	25.2%	33.0%	29.0%	30.1%	39.4%
家の人に聞く	59.5%	59.9%	58.5%	57.4%	60.6%
友達に聞く	28.3%	29.3%	29.1%	32.1%	33.2%
その他	9.4%	6.8%	7.8%	7.8%	10.6%

【Q10】あなたは、市の図書館に行きますか。

よく行く	14.8%	13.3%	16.6%	15.4%	15.9%
たまに行く	50.3%	44.4%	41.3%	49.3%	49.2%
行かない	34.6%	42.3%	42.1%	33.4%	34.6%

【Q11】Q10で、市の図書館に『よく行く』『たまに行く』と回答した人だけ教えてください。

おはなし会、映画会、かがくあそびなどにいったことがありますか。

ある	27.3%	20.1%	31.8%	33.2%	29.6%
ない	23.9%	21.6%	40.4%	41.9%	43.5%
覚えていない	12.9%	15.5%	26.1%	25.4%	29.3%
その他	0.9%	0.6%	1.7%	0.4%	1.5%

【Q12】Q10で、市の図書館に『行かない』と回答した人だけ教えてください。

なぜ行かないのですか。(複数回答可)

本を読みたくない	7.0%	2.5%	3.4%	5.8%	3.5%
図書館が遠い	34.1%	13.6%	27.7%	34.7%	23.5%
本の借り方がわからない	10.6%	7.0%	10.5%	12.0%	4.2%
家に本がある	39.1%	18.2%	41.4%	45.0%	22.3%
時間がない	43.0%	14.6%	44.0%	34.4%	22.3%
近くに別に借りに行くところがあるから	19.5%	4.3%	11.8%	14.8%	10.0%
その他	20.9%	10.0%	20.2%	23.0%	24.2%

小学校 5 年生

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q1】あなたは、本を読むのが好きですか。

好き	40.6%	39.5%	39.1%	38.6%	30.8%
まあまあ好き	35.8%	38.5%	37.7%	39.5%	38.7%
あまり好きではない	17.2%	16.6%	17.6%	17.6%	24.1%
きらい	6.4%	5.2%	5.6%	4.3%	6.5%

【Q2】あなたは、1 週間のうち平均何日、本を読みますか。

0 日	7.3%	7.8%	7.5%	12.7%	17.1%
1 日	18.6%	16.2%	14.7%	16.3%	18.8%
2 日	17.5%	14.6%	17.2%	15.4%	17.7%
3 日	13.5%	14.5%	16.3%	16.0%	13.1%
4 日	11.4%	11.0%	10.3%	9.9%	10.0%
5 日	11.3%	13.2%	13.2%	12.3%	7.7%
6 日	5.5%	5.0%	5.4%	3.9%	2.5%
毎日	14.8%	17.9%	15.4%	13.2%	13.1%

【Q3】あなたは、1 か月（アンケート実施の直前月）に何冊本を読みましたか。

（読みかけの本も 1 冊に数えます。マンガ・雑誌は数えません。）

0 冊	5.3%	6.7%	7.1%	7.1%	11.1%
1～2 冊	20.6%	20.5%	20.0%	21.0%	19.8%
3～5 冊	32.3%	33.3%	32.2%	34.1%	29.9%
6～9 冊	20.6%	17.4%	20.1%	16.9%	16.9%
10 冊以上	21.2%	22.1%	20.6%	20.6%	22.3%

【Q4】Q3 で『0 冊』を選択した人は、教えてください。読まなかったのはなぜですか。

（複数回答可）

本が好きでないから	52.8%	43.9%	47.8%	47.1%	67.9%
勉強が忙しいから	9.4%	18.2%	18.8%	13.2%	19.8%
テレビ・ビデオ・DVDを見るから	28.3%	37.9%	43.5%	29.4%	32.1%
ゲームをするから	34.0%	50.0%	46.4%	55.9%	50.0%
友達と遊ぶから	37.7%	28.8%	39.1%	38.2%	50.9%
読みたい本がないから	43.4%	51.5%	33.3%	47.1%	48.1%
面白い本がないから	37.7%	40.9%	29.0%	29.4%	35.8%
誰かに読んでもらえなかったから	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.9%
その他	22.6%	16.7%	21.7%	19.1%	23.6%

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q5】あなたは、読みたい本をどのようにして手に入れますか。(複数回答可)

本屋等で買う	74.9%	76.1%	72.6%	74.9%	68.0%
学校で借りる	46.4%	42.1%	49.1%	44.7%	49.8%
友達から借りる	23.5%	26.6%	22.0%	18.3%	15.9%
市の図書館・分館で借りる	27.0%	22.0%	22.2%	21.2%	18.2%
家にある本を読む	43.6%	42.6%	46.0%	44.4%	42.4%
公民館で借りる	4.8%	3.7%	2.6%	3.6%	5.6%
児童館で借りる	3.7%	1.4%	2.7%	1.5%	3.9%
インターネットで買う	-	-	-	-	-
その他	9.3%	14.0%	9.4%	8.8%	10.8%

【Q6】あなたは、読みたい本をどのようにして探しますか。(複数回答可)

先生に聞く	5.8%	4.4%	4.8%	5.1%	11.0%
市の図書館の人に聞く	13.3%	9.8%	10.7%	8.5%	9.7%
家の人に聞く	37.7%	42.6%	34.9%	35.7%	41.3%
友達に聞く	23.5%	28.4%	23.8%	21.7%	25.2%
インターネットで調べる	40.0%	47.1%	41.6%	46.4%	51.8%
本屋で探す	67.0%	65.2%	60.6%	61.6%	50.6%
その他	12.8%	10.3%	11.1%	7.4%	8.5%

【Q7】あなたは、学校の図書館(学校の図書室)に行きますか。(授業などで図書室に行くこともふくみます。)

よく行く	18.4%	15.9%	20.7%	13.6%	16.1%
たまに行く	49.7%	44.4%	46.0%	43.3%	44.0%
ほとんど行かない	23.2%	29.2%	24.6%	31.7%	28.1%
行かない	8.9%	10.5%	8.7%	11.3%	11.7%

【Q8】Q7で『行かない』を選択した人は、教えてください。行かないのはなぜですか。

(複数回答可)

本を読みたくない	27.3%	18.4%	23.5%	10.2%	13.4%
読みたい本がない	44.3%	57.3%	35.3%	53.7%	45.5%
他の遊びをしたい	46.6%	40.8%	41.2%	48.1%	45.5%
係や委員会の仕事がある	13.6%	13.6%	16.5%	18.5%	8.9%
その他	22.7%	22.3%	25.9%	28.7%	19.6%

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q9】あなたは、知りたいことや、分からないことがあった時、どのようにして調べますか。

(複数回答可)

インターネットで調べる	67.6%	79.9%	73.8%	79.5%	82.3%
学校の図書室で調べる	20.6%	19.0%	18.8%	12.7%	17.4%
市の図書館で調べる	10.4%	8.5%	6.6%	7.5%	8.2%
家の本で調べる	29.5%	27.2%	24.6%	23.4%	25.1%
先生に聞く	17.2%	20.0%	21.0%	23.1%	26.3%
家の人に聞く	65.3%	70.1%	65.4%	63.9%	59.8%
友達に聞く	29.9%	36.3%	31.8%	36.9%	40.9%
その他	10.4%	7.0%	7.8%	4.5%	6.9%

【Q10】あなたは、市の図書館に行きますか。

よく行く	6.8%	4.9%	6.2%	5.1%	5.9%
たまに行く	49.2%	41.9%	41.0%	41.7%	40.5%
行かない	44.1%	53.2%	52.8%	53.0%	53.7%

【Q11】Q10で、市の図書館に『よく行く』『たまに行く』と回答した人だけ答えてください。

おはなし会、映画会、かがくあそびなどにいったことがありますか。

ある	17.8%	33.7%	28.1%	28.7%	23.0%
ない	23.7%	40.9%	42.3%	42.8%	46.0%
覚えていない	13.7%	24.3%	29.2%	28.3%	33.9%
その他	1.2%	1.1%	0.4%	1.1%	1.1%

【Q12】Q10で、市の図書館に『行かない』と回答した人だけ答えてください。

なぜ行かないのですか。(複数回答可)

本を読みたくない	14.0%	10.9%	15.1%	9.9%	11.9%
図書館が遠い	39.8%	36.9%	36.8%	32.9%	19.1%
本の借り方がわからない	11.9%	6.9%	10.7%	9.3%	2.1%
家に本がある	37.3%	47.4%	43.2%	47.1%	23.4%
時間がない	40.3%	46.3%	42.2%	36.8%	18.9%
近くに別に借りに行くところがあるから	15.6%	9.2%	13.6%	11.7%	8.6%
その他	25.6%	29.4%	29.7%	27.1%	16.8%

中学校 2 年生

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q1】あなたは、本を読むのが好きですか。

好き	32.6%	32.9%	33.3%	31.7%	30.3%
まあまあ好き	40.7%	38.0%	37.8%	41.3%	39.9%
あまり好きではない	21.2%	23.2%	18.6%	20.2%	20.4%
きらい	5.5%	5.9%	10.3%	6.8%	9.4%

【Q2】あなたは、1 週間のうち平均何日、本を読みますか。

0 日	2.9%	8.0%	11.8%	7.7%	16.1%
1 日	4.7%	8.4%	7.8%	5.1%	8.4%
2 日	6.7%	4.9%	4.3%	3.2%	6.9%
3 日	3.3%	8.2%	5.2%	3.2%	7.3%
4 日	24.6%	13.1%	12.6%	10.2%	14.3%
5 日	35.8%	37.4%	36.8%	48.5%	31.6%
6 日	6.3%	8.4%	8.3%	10.9%	3.3%
毎日	15.3%	11.6%	13.2%	13.2%	12.0%

【Q3】あなたは、1 か月（アンケート実施の直前月）に何冊本を読みましたか。

（読みかけの本も 1 冊に数えます。マンガ・雑誌は数えません。）

0 冊	0.0%	5.3%	7.0%	6.8%	13.0%
1～2 冊	56.8%	50.6%	47.5%	47.8%	48.7%
3～5 冊	27.1%	28.3%	29.2%	27.2%	21.4%
6～9 冊	7.7%	7.2%	7.6%	9.5%	5.0%
10 冊以上	6.3%	8.6%	8.7%	8.7%	12.0%

【Q4】Q3 で『0 冊』を選択した人は、教えてください。読まなかったのはなぜですか。

（複数回答可）

本が好きでないから	0.0%	48.0%	58.8%	65.6%	66.7%
勉強が忙しいから	0.0%	28.0%	26.5%	21.9%	27.3%
テレビ・ビデオ・DVDを見るから	0.0%	36.0%	58.8%	40.6%	39.4%
ゲームをするから	0.0%	60.0%	58.8%	78.1%	42.4%
友達と遊ぶから	0.0%	40.0%	47.1%	53.1%	33.3%
読みたい本がないから	0.0%	40.0%	58.8%	65.6%	36.4%
面白い本がないから	0.0%	24.0%	35.3%	34.4%	30.3%
誰かに読んでもらえなかったから	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	12.0%	26.5%	6.3%	12.1%

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q5】あなたは、読みたい本をどのようにして手に入れますか。(複数回答可)

本屋等で買う	82.3%	84.2%	83.5%	84.7%	78.0%
学校で借りる	26.5%	23.2%	27.1%	32.1%	31.4%
友達から借りる	26.3%	19.2%	18.4%	21.1%	16.7%
市の図書館・分館で借りる	13.2%	15.2%	10.7%	11.5%	10.6%
家にある本を読む	39.3%	40.1%	37.6%	47.7%	34.8%
公民館で借りる	1.0%	3.4%	1.2%	1.5%	2.2%
児童館で借りる	0.8%	0.2%	0.4%	0.0%	0.6%
インターネットで買う	20.8%	28.7%	26.0%	33.4%	34.4%
その他	3.9%	3.8%	3.3%	3.8%	5.9%

【Q6】あなたは、読みたい本をどのようにして探しますか。(複数回答可)

先生に聞く	1.4%	2.3%	2.9%	2.6%	4.3%
市の図書館の人に聞く	2.6%	2.5%	2.9%	3.0%	5.5%
家の人に聞く	15.7%	16.2%	16.9%	24.0%	20.6%
友達に聞く	24.8%	20.9%	18.2%	22.8%	19.1%
インターネットで調べる	61.3%	69.8%	69.2%	73.6%	77.8%
書店で探す	62.3%	64.6%	54.1%	61.7%	58.0%
その他	5.9%	4.4%	5.2%	4.9%	5.7%

【Q7】あなたは、学校の図書館(学校の図書室)に行きますか。(授業などで図書室に行くこともふくみます。)

よく行く	11.2%	10.3%	12.0%	11.5%	10.8%
たまに行く	29.7%	19.6%	25.6%	26.0%	31.6%
ほとんど行かない	36.7%	35.9%	26.0%	36.2%	27.3%
行かない	22.4%	34.2%	36.4%	26.2%	30.3%

【Q8】Q7で『行かない』を選択した人は、教えてください。行かないのはなぜですか。

(複数回答可)

本を読みたくない	18.2%	19.8%	17.0%	24.4%	15.6%
読みたい本がない	46.4%	41.4%	44.3%	40.7%	23.4%
他の遊びをしたい	47.3%	53.7%	51.1%	58.5%	49.4%
部活や委員会の仕事がある	10.9%	18.5%	18.2%	9.8%	10.4%
その他	24.5%	21.6%	23.9%	32.5%	17.5%

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q9】あなたは、知りたいことや、分からないことがあった時、どのようにして調べますか。

(複数回答可)

インターネットで調べる	94.1%	91.4%	92.4%	95.5%	96.5%
学校の図書室で調べる	6.7%	4.9%	3.9%	7.0%	6.1%
市の図書館で調べる	4.3%	4.4%	1.4%	2.3%	2.4%
家の本で調べる	12.0%	14.1%	13.0%	13.4%	11.4%
先生に聞く	17.1%	24.3%	19.8%	24.9%	22.2%
家の人に聞く	50.1%	47.5%	42.6%	50.2%	46.6%
友達に聞く	41.1%	45.4%	39.7%	51.7%	45.4%
その他	2.9%	3.8%	2.9%	3.6%	4.7%

【Q10】あなたは、市の図書館に行きますか。

よく行く	4.9%	2.6%	4.5%	2.6%	3.1%
たまに行く	28.1%	27.7%	23.6%	24.7%	30.1%
行かない	67.0%	69.9%	71.9%	72.6%	66.8%

【Q11】Q10で、市の図書館に『よく行く』『たまに行く』と回答した人だけ教えてください。

おはなし会、映画会、かがくあそびなどにいったことがありますか。

ある	9.4%	35.0%	40.5%	33.6%	27.8%
ない	15.7%	38.5%	41.9%	44.5%	45.0%
覚えていない	7.9%	25.9%	17.6%	22.7%	35.5%
その他	0.0%	0.7%	0.0%	1.6%	1.8%

【Q12】Q10で、市の図書館に『行かない』と回答した人だけ教えてください。

なぜ行かないのですか。(複数回答可)

本を読みたくない	18.5%	19.3%	20.1%	25.8%	15.9%
図書館が遠い	38.6%	41.7%	38.5%	45.7%	22.6%
本の借り方がわからない	4.0%	5.7%	10.1%	6.7%	0.6%
家に本がある	38.6%	35.6%	32.5%	45.5%	19.1%
時間がない	46.2%	43.8%	43.7%	53.4%	23.5%
近くに別に借りに行くところがあるから	7.0%	8.8%	9.2%	13.8%	3.2%
その他	19.8%	25.1%	28.2%	24.6%	13.5%

《保護者》

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q1】あなたは、本を読むのが好きですか。

好き	34.1%	35.9%	34.1%	32.7%	36.5%
まあまあ好き	41.8%	41.5%	41.0%	42.4%	38.3%
あまり好きではない	21.8%	20.7%	22.5%	23.0%	22.4%
嫌い	2.3%	1.9%	2.4%	1.9%	2.8%

【Q2】あなたは、1か月に何冊ぐらい本を読みますか。

(マンガ・雑誌は数えません)

0冊	36.4%	34.8%	35.5%	36.5%	33.9%
1～2冊	46.0%	48.1%	46.1%	46.2%	45.5%
3～5冊	11.6%	11.1%	11.5%	11.3%	12.8%
6～9冊	3.1%	2.7%	2.8%	2.5%	2.8%
10冊以上	2.9%	3.3%	3.7%	3.3%	5.0%

【Q3】あなたは、子どもの頃、本を読むのが好きでしたか。

好きでした	35.4%	34.3%	36.0%	33.4%	35.0%
まあまあ好きでした	29.4%	32.7%	30.8%	31.8%	30.5%
あまり好きではなかった	29.6%	27.9%	26.3%	28.8%	28.5%
嫌いでした	5.6%	5.1%	6.7%	5.8%	6.0%

【Q4】お子さんに、絵本や物語の読み聞かせをしていますか。

よくする(した)	38.7%	36.3%	37.4%	40.3%	44.9%
ときどきする(した)	45.9%	46.7%	45.6%	43.9%	39.1%
あまりしない(しなかった)	12.7%	15.0%	14.3%	12.9%	13.6%
しない(しなかった)	2.7%	2.0%	2.5%	1.7%	2.4%

【Q5】Q4で、『よくする(した)』『ときどきする(しました)』を選択した方だけ、お答えください。月に何冊読み聞かせをします(しました)か。

1～2冊	18.8%	18.3%	18.4%	20.0%	12.1%
3～5冊	31.4%	31.4%	34.6%	30.3%	27.7%
6冊以上	49.8%	50.3%	47.5%	49.6%	56.4%

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q6】Q4で、『よくする(した)』『ときどきする(した)』を選択した方だけ、お答えください。
いつ頃まで読み聞かせをします(しました)か。

小学校に入学するまで	66.6%	67.3%	66.2%	69.2%	59.8%
小学3年生頃まで	21.0%	21.5%	20.5%	19.8%	22.4%
小学6年生頃まで	4.1%	4.0%	4.4%	4.6%	6.4%
中学生まで	0.6%	0.3%	0.6%	0.0%	0.8%
その他	7.7%	6.9%	8.5%	6.3%	7.4%

【Q7】Q4で、『あまりしない(しなかった)』『しない(しなかった)』を選択した方だけ、お答えください。読み聞かせをしない(しなかった)のは、なぜですか。(複数回答可)

子どもは本が好きでないから	11.6%	19.7%	15.1%	15.9%	16.2%
子どもは習い事が忙しいから	8.3%	4.4%	7.2%	5.0%	4.9%
子どもはテレビ・ビデオ・DVDを見るから	22.0%	20.8%	24.0%	25.0%	9.2%
子どもはゲームをするから	9.5%	9.9%	11.1%	12.3%	5.6%
子どもは友達と遊ぶから	12.9%	12.0%	15.1%	9.5%	1.4%
本がないから	8.7%	12.0%	9.0%	7.7%	2.8%
読み聞かせをする時間がないから	54.4%	50.7%	53.0%	52.3%	59.9%
兄弟が読んであげているから	7.9%	8.8%	5.7%	6.4%	3.5%
その他	28.2%	26.3%	25.4%	30.5%	0.0%

【Q8】市立図書館(分館も含む)に、お子さんを連れて行きますか。

よく行く	10.5%	8.0%	10.4%	10.9%	13.7%
たまに行く	41.6%	33.9%	34.5%	35.7%	38.9%
ほとんど行かない	47.9%	58.1%	54.5%	53.6%	46.5%

【Q9】Q8で、市立図書館に『ほとんど行かない』を選択した方だけ、お答えください。あなたが連れて行かないのは、なぜですか。

子どもが本を読みたがらないから	20.6%	19.7%	20.2%	20.9%	23.2%
図書館が遠いから	22.9%	21.8%	24.5%	23.8%	24.2%
借り方がわからないから	1.1%	1.6%	1.3%	1.2%	1.0%
家に本があるから	20.9%	25.0%	24.6%	25.1%	24.7%
その他	34.5%	31.9%	31.0%	31.9%	30.0%

元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
-----	-----	-----	-----	-----

【Q10】子どもの成長にとって読書が大切だと言われています。あなたは、家庭でどのようなことをされていますか。(複数回答可)

子どもの読んだ本を話題にする	43.2%	47.1%	42.8%	48.5%	47.2%
子どもが本を読んだらほめる	43.1%	45.8%	42.4%	40.7%	39.9%
家に本をそろえる	43.2%	43.9%	44.1%	46.9%	51.8%
読み聞かせをする	31.2%	32.0%	32.3%	31.7%	34.3%
自分が読書している姿を見せる	18.4%	19.2%	17.5%	16.4%	21.5%
図書館に連れて行く	37.0%	30.2%	33.2%	33.9%	39.6%
おはなし会や読み聞かせに連れて行く	7.4%	6.5%	6.2%	6.8%	8.7%
親子で本を話題にして会話をする	28.4%	27.4%	28.9%	27.5%	27.9%
親と子が一緒に時間読書をして過ごす	10.8%	12.7%	11.0%	11.7%	16.1%
何もしない	6.5%	6.6%	7.1%	6.2%	7.0%
その他	6.6%	6.3%	5.9%	5.8%	4.6%

所沢市子どもの読書活動推進計画策定経過

■令和5年度

4月1日	所沢市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱施行
4月28日	教育委員会4月定例会(計画策定予定について報告)
5月31日	第1回子どもの読書活動推進計画策定委員会 正副委員長の選出
7月26日	第2回子どもの読書活動推進計画策定委員会 所沢市子どもの読書活動推進計画(素案)の検討
8月29日	第3回子どもの読書活動推進計画策定委員会 所沢市子どもの読書活動推進計画(素案)の作成
10月11日	所沢市立所沢図書館協議会(素案について意見をいただく)
10月25日	第4回子どもの読書活動推進計画策定委員会 所沢市子どもの読書活動推進計画(素案)の検討
10月27日	教育委員会10月定例会(パブリックコメント報告)
11月	所沢市子どもの読書アンケート調査実施(10/15~11/15の実績)
11月17日	教育委員会11月定例会(パブリックコメントについて協議)
11月21日	政策会議(パブリックコメントについて発議) 全庁照会
12月21日~1月20日	パブリックコメントによる市民からの意見募集
1月31日	第5回子どもの読書活動推進計画策定委員会 所沢市子どもの読書活動推進計画(素案)の検討
2月1日	図書館協議会(パブリックコメント結果報告)
2月14日	教育委員会2月定例会(パブリックコメント結果報告)
2月16日	政策会議(パブリックコメント結果報告)
2月28日	第6回子どもの読書活動推進計画策定委員会 所沢市子どもの読書活動推進計画(案)の確認
2月29日	パブリックコメント結果公表
3月12日	教育委員会3月定例会(所沢市子どもの読書活動推進計画(案)の審議)
3月	「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」 市長決裁・策定

○所沢市子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(平成30年3月22日要綱)

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)第9条第2項の規定に基づき、所沢市子どもの読書活動推進計画(以下「推進計画」という。)を策定するため、所沢市子どもの読書活動推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 推進計画の策定に関すること。
- (2) 推進計画の実施に向けた総合的な調整に関すること。
- (3) その他推進計画の策定に関し、必要と認められること。

(組織)

第3条 委員会は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから所沢市教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 所沢市立小中学校の代表者
- (2) 所沢市内高等学校の代表者
- (3) 所沢市内特別支援学校の代表者
- (4) 別表に掲げる課等の職員
- (5) その他幼児教育に携わる者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から推進計画の策定が終了した日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(意見の聴取等)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、委員会の会議に出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育総務部所沢図書館において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(令和5年2月15日要綱)

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

経営企画部経営企画課
財務部財政課
市民部まちづくりセンター
こども未来部こども支援課
こども未来部青少年課
こども未来部保育幼稚園課
健康推進部健康づくり支援課
教育総務部教育総務課
教育総務部社会教育課
教育総務部所沢図書館
学校教育部学校教育課
学校教育部所沢第二幼稚園

所沢市子どもの読書活動推進計画策定委員会委員名簿

所 属	職 名	氏 名
経営企画課	主査	岩田 堯之
財政課	主任	高橋 淳一
市民部(三ヶ島まちづくりセンター)	主査	○ 福嶋 美穂
こども支援課	主査	大河原 美和子
青少年課	主査	三坂 奈津恵
保育幼稚園課(新所沢保育園)	主査(保育士)	小林 友子
健康づくり支援課(保健センター)	主幹	松本 加代子
教育総務課	主査	大久保 卓司
社会教育課(生涯学習推進センター)	係長	○ 藤巻 幸子
埼玉県立所沢中央高等学校 (県立高等学校長協会所沢ブロック)	司書	佐藤 直子
埼玉県立所沢特別支援学校	教諭	太田 歩美
所沢第六文化幼稚園 (所沢市私立幼稚園協会)	園長	阿部 泰己
所沢市立富岡小学校	校長	◎ 高橋 順
所沢市立柳瀬中学校	校長	猪口 茂
所沢市立荒幡小学校	教諭	上原 智子
所沢市立小手指中学校	教諭	北澤 みつき
所沢市立所沢第二幼稚園	主査	小高 香織
学校教育課(図書館担当)	指導主事	渡野邊 拓
学校教育課(幼稚園担当)	指導主事	北嶋 一済
所沢図書館	主事	神山 綾花

◎委員長 ○副委員長

事務局

所沢図書館	館長	橋本 浩志
	主査	荒井 英子
	主査	本橋 佐和
	主査	小井澤 翠
	主任	小林 紗希
	子どもの読書活動推進員	齋藤 敏男

第4次所沢市子どもの読書活動推進計画

令和6年3月

発行 所沢市

編集 所沢市教育委員会 教育総務部 所沢図書館

〒359-0042 所沢市並木1丁目13番地

TEL 04-2995-6311

FAX 04-2992-1421

E-mail b9956311@city.tokorozawa.lg.jp

HP <https://www.tokorozawa-library.jp>